

# TUTC Library

Tsukuba Urban  
Transportation Center

財団法人 つくば都市交通センター

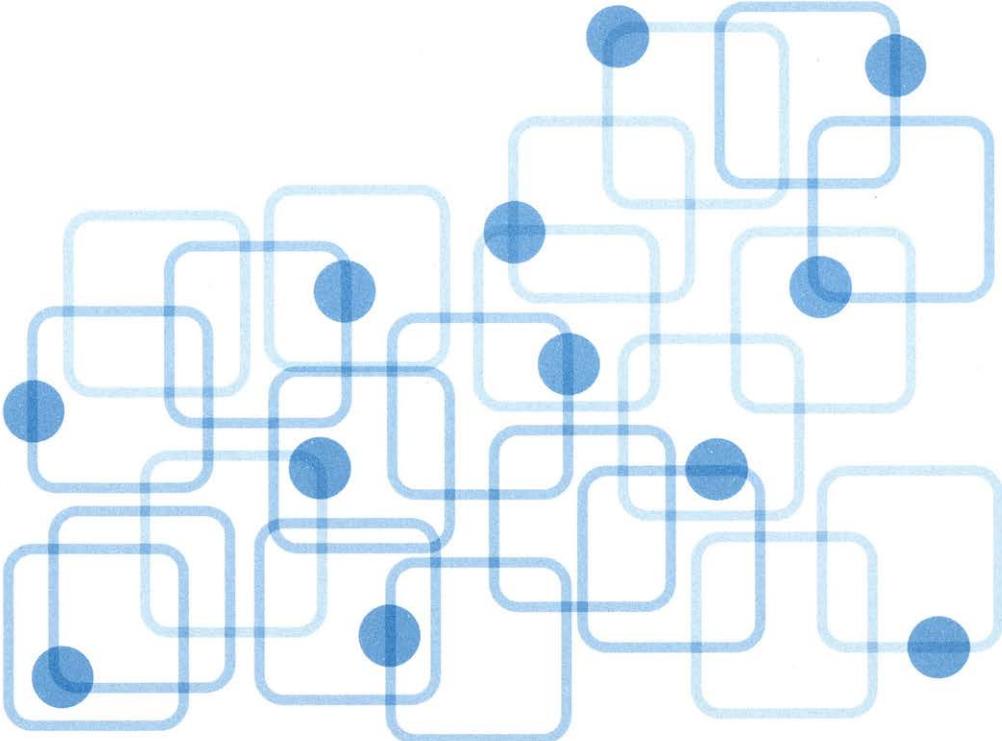
# 36

平成21年2月発行

Published  
in February 2009  
by Tsukuba Urban  
Transportation Center

－作品－

少年少女が考える  
「つくばのまちと交通」(VoL.2)



## はじめに

---

つくばエクスプレスが開通して、3年近くが経過し、つくばのまちは大きく変化しつつあります。

また、「つくばのまちと交通」に貢献する公益法人として設立された財団法人つくば都市交通センターは、平成20年6月1日に創立20周年を迎えました。

このような中、当財団は、つくばに住み、つくばを訪れる皆様とともにこれから「つくばのまちと交通」がより良いものになるよう応えていきたいと思っております。

そのため、つくばの次世代を担う少年少女の新鮮な発想、創造力を通じて「つくばのまちと交通」への提案をいただくため、平成19年度に引き続き、平成20年度も作文、絵画・ポスターによる作品を募集することにいたしました。

本冊子は、平成20年度の作品募集の概要とその内容について成果を取りまとめ、併せて平成19年度に実施した同募集における少年少女の「つくばのまちと交通」に対する意識、姿勢、考え方等の2カ年の動きについても考察を加え、市民や関係者の皆様に今後のより良い街づくりについて考えていただくための参考資料としてまとめたものです。

## 目次

### I. 平成20年度 少年少女が考える「つくばのまちと交通」作品募集について

1. 作品募集の経過	
(1) スケジュール	1
(2) 応募概要	2
(3) 応募状況	3
(4) 審査経過	7
(5) 審査結果	8
2. 応募作品の分析	
(1) 作文分析	10
(2) 絵画分析	14
(3) ポスター分析	18
3. 考察	
(1) 作文考察	23
(2) 絵画・ポスター考察	26
4. 優秀作品紹介	
(1) 作文部門	27
(2) 絵画・ポスター部門	37
5. 参考	
(1) 募集	45
(2) 記録	48

### II. 2カ年にわたる作品募集の総括

1. 少年少女を取り巻く社会環境の変化と背景等	57
2. 応募作品の具体的な題材設定傾向	
(1) 作文分析	59
(2) 絵画分析	62
(3) ポスター分析	64
3. 応募状況の分析	
(1) 全体分析	67
1) 作文分析	70
2) 絵画分析	72
3) ポスター分析	74
(2) 応募作品の主張と問題解決への提案	77
1) 作文分析	78
2) 絵画分析	80
3) ポスター分析	81
4. 2カ年にわたる作品募集における小中学生の主張内容のまとめ	83



## I. 平成20年度 少年少女が考える 「つくばのまちと交通」作品募集について

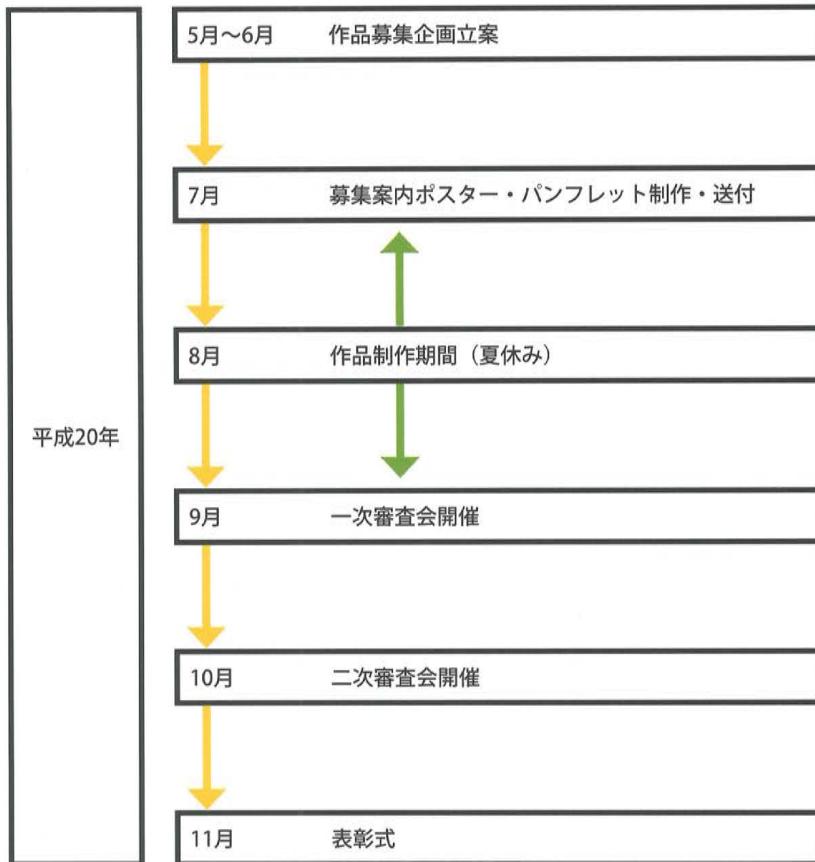


## 1. 作品募集の経過



## 1. 作品募集の経過

### (1) スケジュール



---

## (2) 応募概要

### 1) 対象

つくば市内の全小学校の児童、全中学校の生徒

### 2) 応募学校数

小学校37校中22校

中学校15校中8校

計 52校中30校

### 3) 応募総数

小学校12,600名中76名

中学校6,300名中51名

計 18,900名中127名

### 4) 応募作品数

小学校76作品

中学校51作品

計 127作品

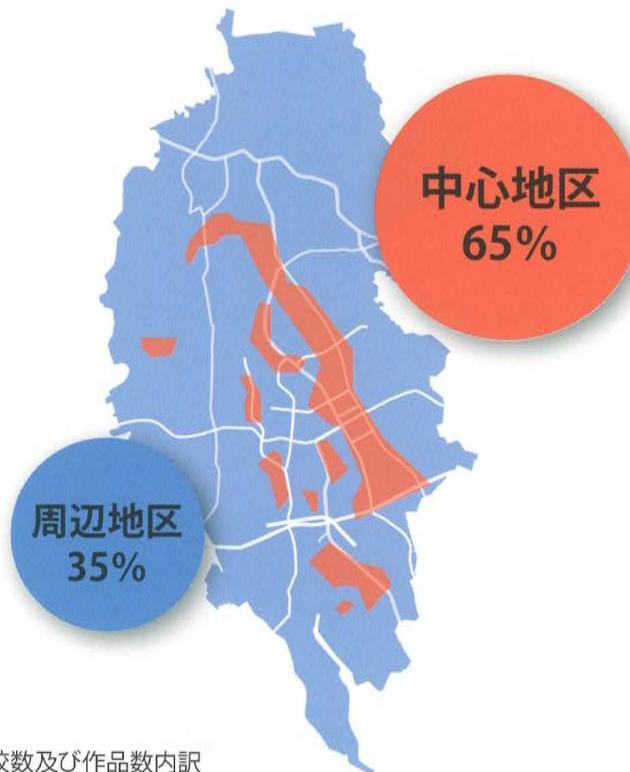


### (3) 応募状況

#### □ 地区別内訳

中心地区：つくば市の中央部約2,700ha。

周辺地区：中心地区以外の区域約25,700ha。



#### 応募学校数及び作品数内訳

中心地区：小学校9校中8校

中学校6校中3校

計 15校中11校：82作品

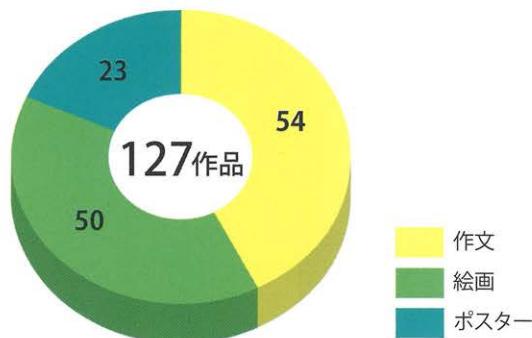
周辺地区：小学校28校中14校

中学校9校中5校

計 37校中19校：45作品

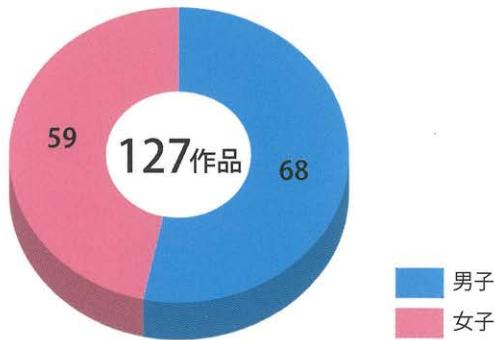
学校あたりの応募数で中心地区が上回り、中心・周辺では、約6:4の比率であった。

## □全作品内訳

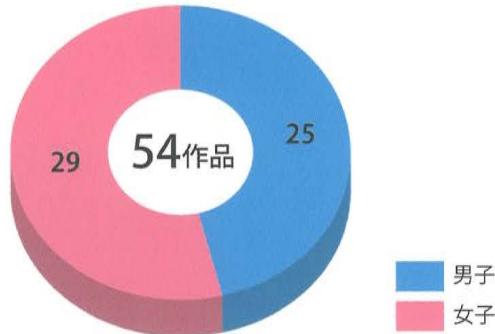
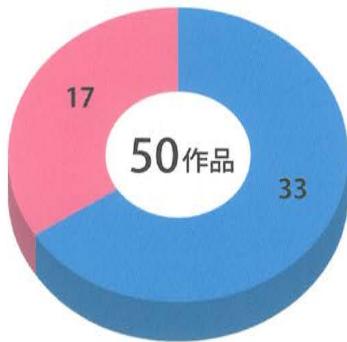


全作品127作品中、作文54作品、絵画50作品、ポスター23作品という割合になった。

## □全作品内訳（男女別）

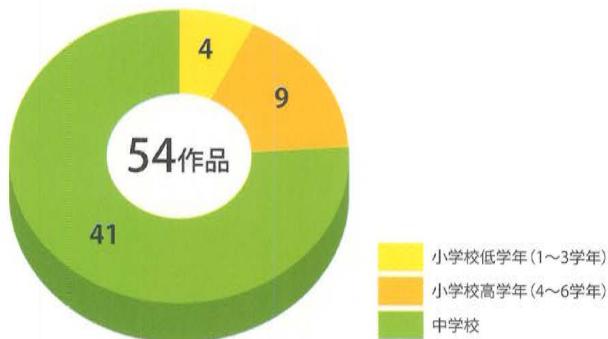


全作品127作品中、男子生徒が68作品、女子生徒が59作品と男子生徒がやや多いものの、約1:1でバランスがとれていた。

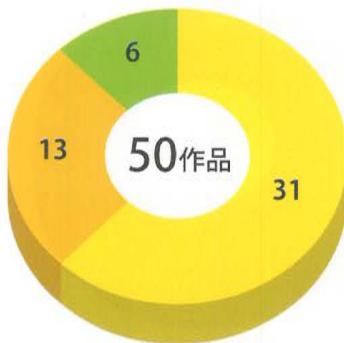
男女別内訳(作文) 男女別内訳(絵画) 男女別内訳(ポスター)

作文とポスターへの応募の割合は、女子がやや多く、絵画への応募の割合は、約7割が男子の応募であった。

## □学年別内訳(作文)



## □学年別内訳(絵画)



## □学年別内訳(ポスター)



作文については、中学校からの応募が54作品と約8割を占め、小学校からの応募は約2割にとどまった。

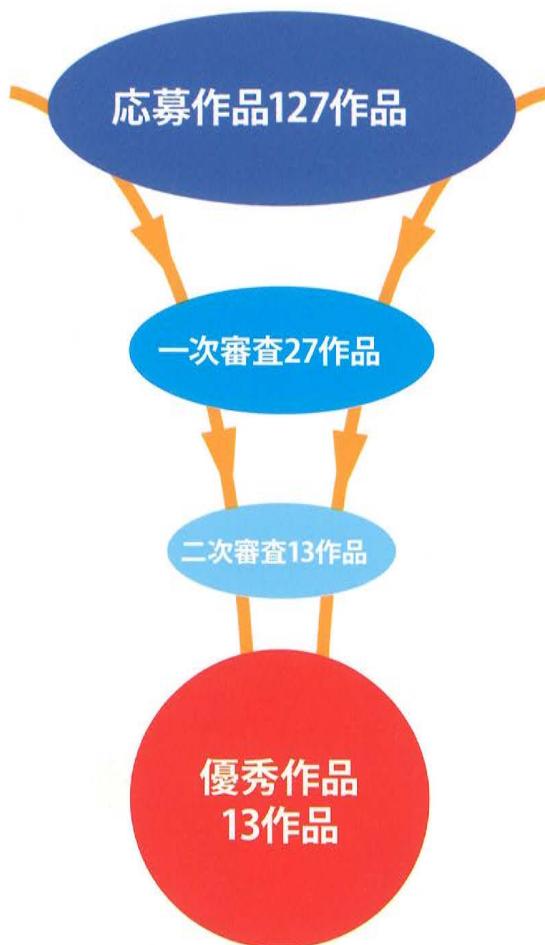
一方、絵画・ポスター部門では作文とは逆に小学校からの応募が約9割を占め、中学校からは両部門合計で10作品の応募にしか至らなかつた。

以上、各部門ごとには違いが出たが、全体としては小学校76作品、中学校51作品で6:4の割合で小学生の応募が多かつた。

#### (4) 審査経過

応募作品127作品について、一次審査会では、作文12作品、絵画・ポスター15作品の、計27作品を選出した。

そして、二次審査会では、上記の27作品から優秀作品13作品を選出した。



---

## (5) 審査結果

つくば市長賞	1作品
つくば市教育委員会教育長賞	1作品
財団法人つくば都市交通センター理事長賞	1作品
財団法人研究学園都市コミュニティープレサービス理事長賞	1作品
株式会社常陽新聞新社会長賞	1作品
茨城県駐車場協会会长賞	1作品
特別賞	1作品
優秀賞	6作品
計	13作品

優秀学校賞（小学校低学年の部）	1校
優秀学校賞（小学校高学年の部）	1校
優秀学校賞（中学校の部）	1校
計	3校

## 2. 応募作品の分析

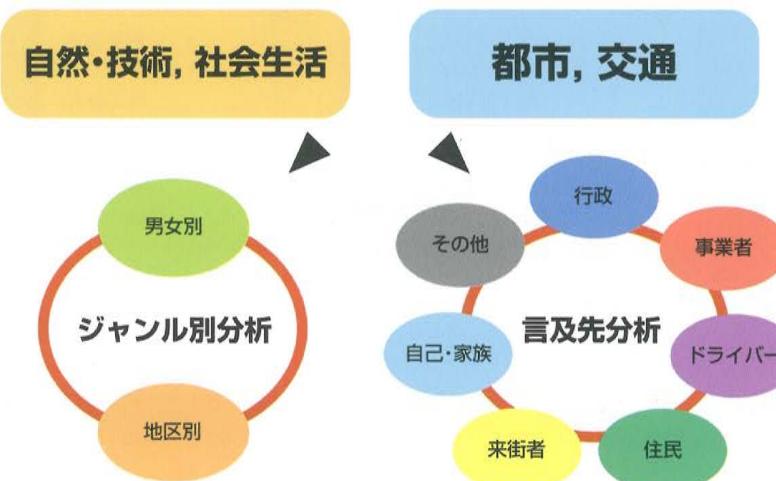
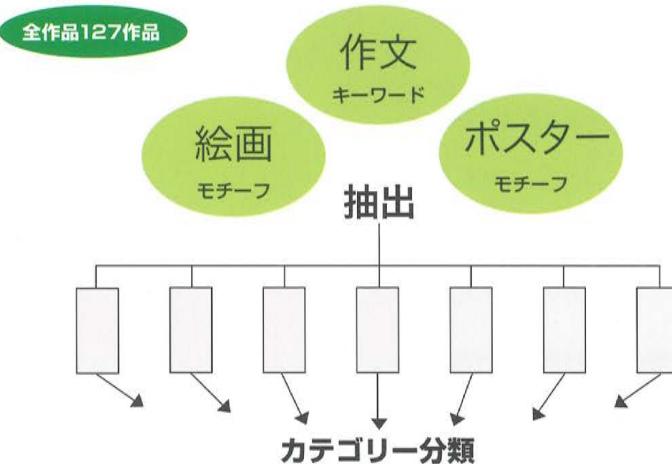




## 2.応募作品の分析

### ■ 分析フロー

応募された全ての作品内容から、作文はキーワードを、絵画・ポスターについてはモチーフを抽出し、カテゴリー別に分類することにしてみた。さらにそれらのカテゴリーをジャンル別に分析することで、つくばの少年少女が抱いている現在、未来に対する意識や考え方などについて考察することにした。



※その他:上記いずれの項目にも該当しないもの

## (1) 作文分析

### 1) 作文キーワード抽出・カテゴリー分類

作品に登場した主なキーワードを抽出し、以下のようにカテゴリー別に分類した。

#### 自然・技術, 社会生活

##### 自然・技術

森林伐採  
開発による自然破壊  
 $\text{CO}_2$   
排気ガス  
温暖化  
エコカー  
電気自動車  
ガソリンの高騰  
エコバッグ

##### 社会生活

不審者対策  
街灯の設置  
国際交流  
ゴミ対策  
タバコのマナー  
車から自転車への利用

#### 都市, 交通

##### 都市

ペデストリアンデッキ  
道路の改良  
地下駐輪場  
地下駐車場  
リンクルロード  
筑波山観光  
エキナカの設置

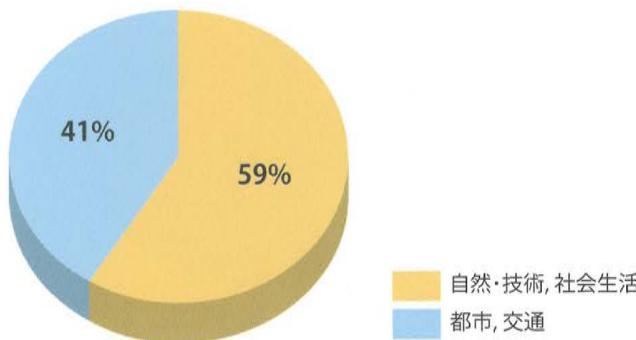
##### 交通

信号機増  
レンタサイクル  
飲酒運転  
信号無視  
違法駐輪  
駐車違反  
交通ルール  
後部座席のシートベルト  
TX車両の増結  
車利用の抑制  
自転車運転のマナー  
茨城空港のアクセス

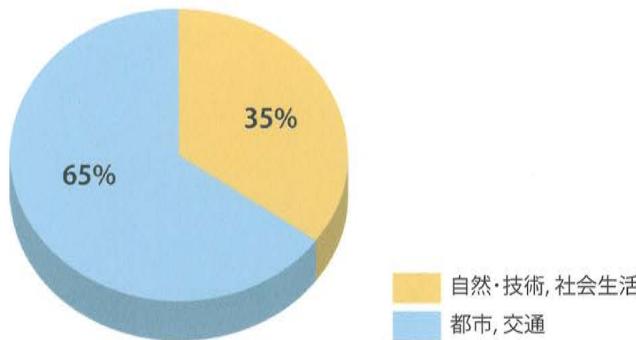
以下、各カテゴリーについて、男女別・地区別に分析を行った。

## 2) -① 作文ジャンル別分析（男女別）

□ 男子/ 25作品



□ 女子/ 29作品

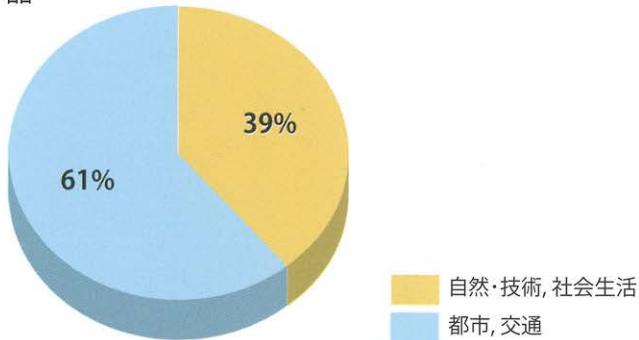


男子は自然・技術に関する記述がやや多く、女子は都市に関する記述が多く見られた。

また、男子・女子共通してガソリンの高騰やエコバッグについての記述が多く見られた。

## 2) -② 作文ジャンル別分析 (地区別)

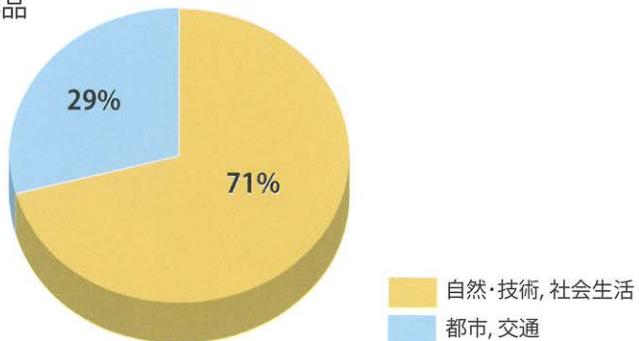
□ 中心地区 / 40作品



道路法の改正による、後部座席のシートベルト着用、飲酒運転禁止などの交通ルールに関する記述が多く占めた。

また、環境問題に関する、エコバッグの利用や排気ガスの抑制に関する記述も多く見られた。

□ 周辺地区 / 14作品

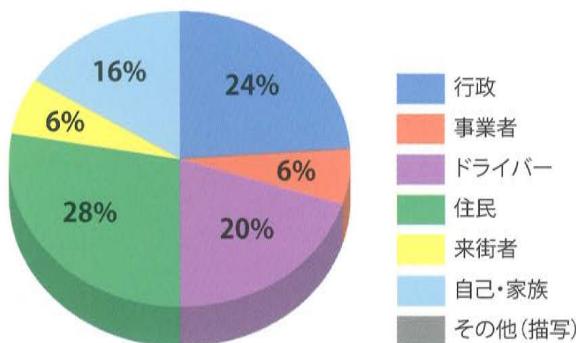


ガソリンの高騰による自転車利用への呼びかけや排気ガスから地球温暖化の心配をしている作品が多く見られた。

また、つくばのPR方法やその方法などに細かく提言しているものもあった。

### 3) 作文言及先分析

各々の作品が最終的に誰に対して提言をしているのか、言及先別に分類した。



ドライバーに対して、交通マナーの向上、違法駐車の禁止や住民に対して車利用から自転車利用へ転換する呼びかけなどを提言していた。

## (2) 絵画分析

### 1) 絵画モチーフ抽出・カテゴリー分類

作品に描写されている、主なモチーフを抽出し、以下のようにカテゴリー別に分類した。

#### 自然・技術, 社会生活

##### 自然・技術

筑波山  
エコトレイン  
野菜  
リアカー  
地球温暖化  
ソーラーカー

##### 社会生活

口ケット  
松見公園  
リサイクル

#### 都市, 交通

##### 都市

駐輪場  
駐車場  
モノレール  
道路整備  
路面電車  
天文台  
高速道路  
つくばエクスプレス

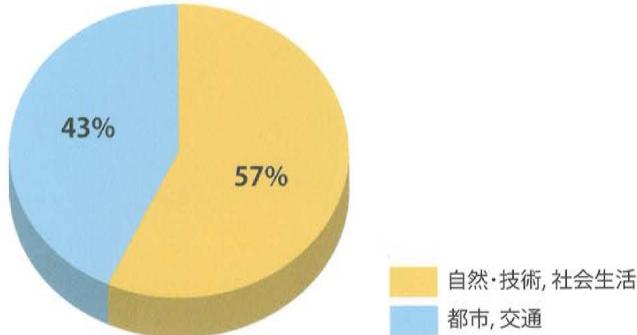
##### 交通

信号・横断歩道  
バス・つくバス  
自転車  
未来の乗り物  
ヘリコプター

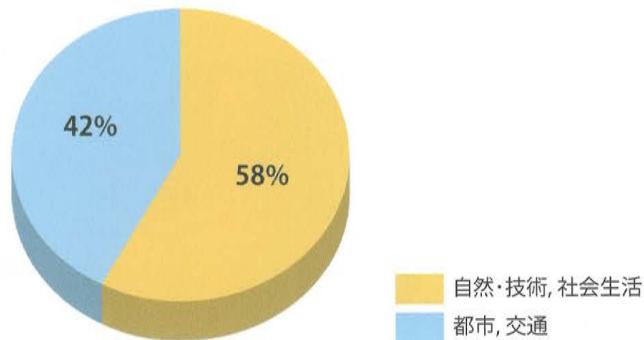
以下、各カテゴリーについて、男女別・地区別に分析を行った。

## 2) -① 絵画ジャンル別分析（男女別）

男子 / 33 作品



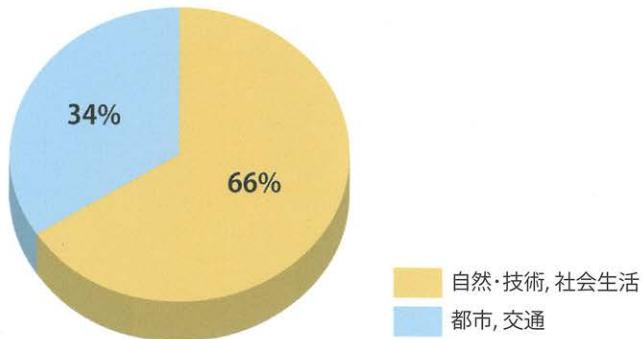
□ 女子 / 17 作品



男子・女子とともに都市、交通に関する作品よりも現代の自動車から排気ガスを出さない未来の車を描いた自然・技術に関する作品が多く見られた。

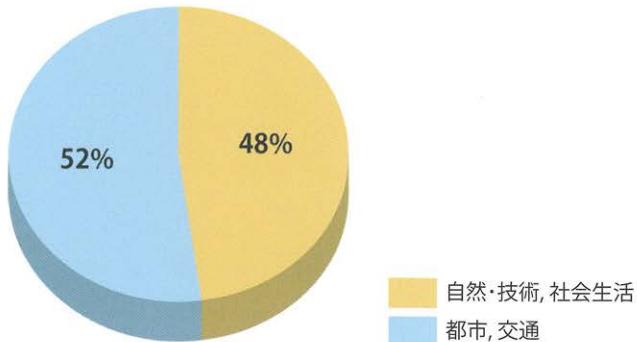
## 2) -② 絵画ジャンル別分析（地区別）

中心地区 / 28作品



都市、交通に関する描写よりも自然に関する筑波山やゴミ捨て禁止について描かれている作品が多く見られた。

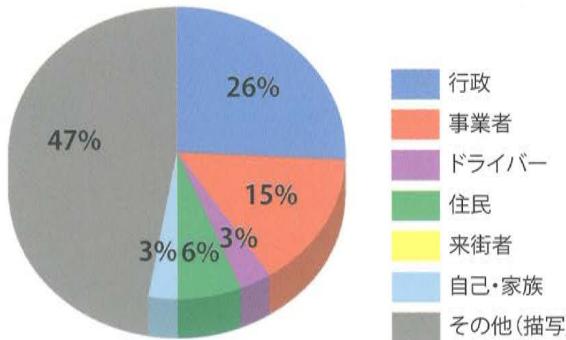
周辺地区 / 22作品



作品には、自然に関する筑波山、交通に関するつくばエクスプレスが多く描かれており、自然・技術、社会生活と都市、交通が均等に描かれていた。

### 3) 絵画言及先分析

各々の作品が最終的に誰に対して提言をしているのか、言及先別に分類した。



※その他:上記いずれの項目にも該当しないもの

環境にやさしい未来の乗り物などの将来の夢などが多く描かれていた。

また、筑波山の描写も多く描かれていた。

### (3) ポスター分析

#### 1) ポスターのモチーフ抽出・カテゴリー分類

作品に描写されている、主なモチーフを抽出し、以下のようにカテゴリー別に分類した。

#### 自然・技術、社会生活

##### 自然・技術

筑波山  
自然保護  
電気自動車  
水素自動車

##### 社会生活

ゴミ捨て禁止  
思いやり  
安全、平和  
福祉

#### 都市、交通

##### 都市

バスターミナル  
つくばエクスプレス

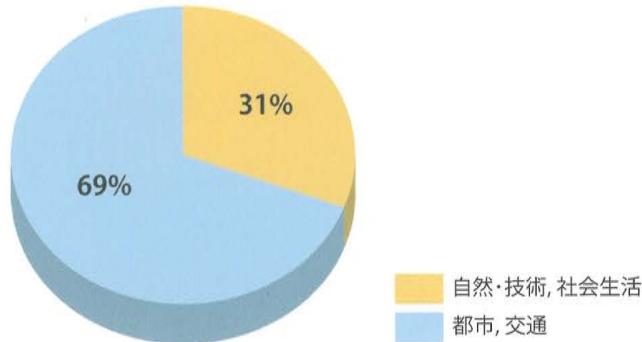
##### 交通

交通安全  
信号・横断歩道  
バス・つくバス  
後部座席のシートベルト  
ヘルメット  
飛び出し禁止

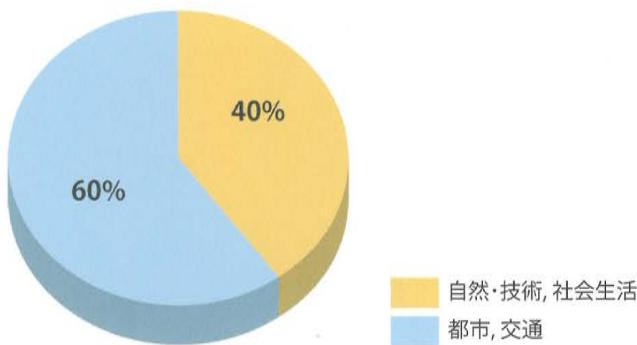
以下、各カテゴリーについて、男女別・地区別に分析を行った。

## 2) -① ポスタージャンル別分析（男女別）

□ 男子/ 10作品



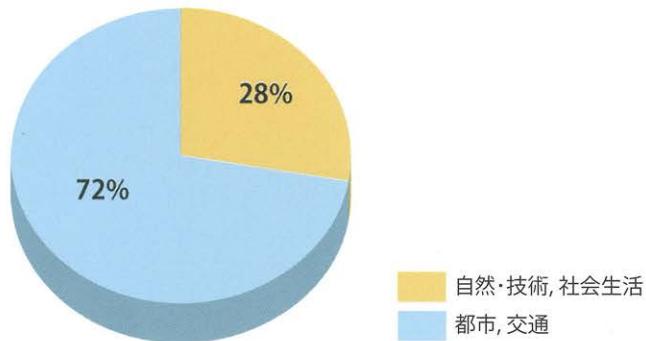
□ 女子/ 13作品



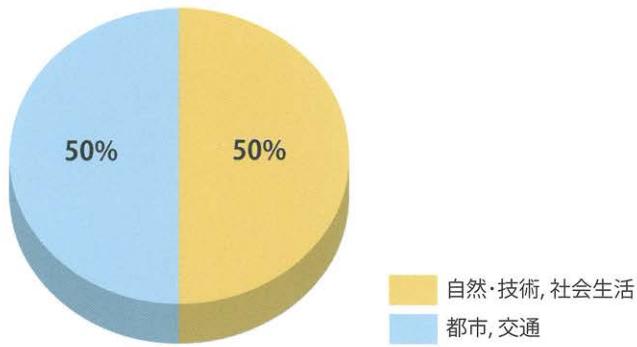
交通安全に関するものが多く、モチーフもシートベルトや自転車が描かれていた。

## 2) -② ポスタージャンル別分析（地区別）

□ 中心地区 / 14作品



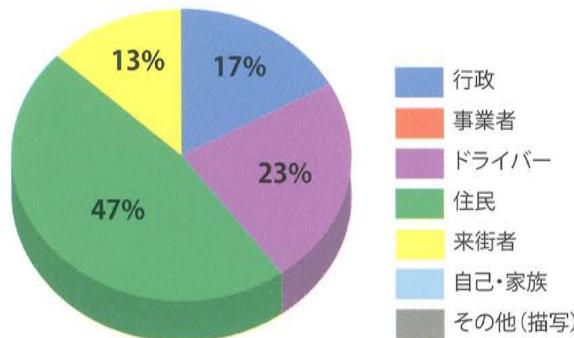
□ 周辺地区 / 9作品



中心地区では、交通に関するものが多く描かれていたが、周辺地区については、自然・技術, 社会生活と都市, 交通に関するモチーフはほぼ同じであった。

### 3) ポスター言及先分析

各々の作品が最終的に誰に対して提言をしているのか、言及先別に分類した。



※その他:上記いずれの項目にも該当しないもの

住民およびドライバーに対して、シートベルト着用や交通ルールを言及する作品が多く見られた。



### 3. 考察



### 3. 考察

昨年に引き続き、財団法人つくば都市交通センターは、少年少女が考える「つくばのまちと交通」の作品募集を企画したが、期待通り、多くの作品が提出された。当財団としてもこの結果を受けて、何ができるかを模索したいと考えている。作品部門別に当財団の考察を加えた。

#### (1) 作文考察

全体的に、地球温暖化や環境に関しては、メディアでの報道の影響か、小学校低学年にも「CO<sub>2</sub>」という言葉が浸透していた。そしてそのCO<sub>2</sub>を減らす努力をした方が良いと訴える作品が圧倒的に多く、次に日常の安全安心を訴える作品、法改正で追加された項目も含む交通マナーについて訴える作品が多くあった。

具体的にカテゴリー別に整理すると、以下のようになつた。

#### 1. 地球、自然環境保全

今年からメディアでの報道が活発になったエコ活動の影響を受け、環境問題についての記述が多数を占めた。環境のためにレジ袋をやめて、エコバックを使うべきだと住民へ訴えかける作品や、温暖化ガス削減のために近隣の場所への移動には、自動車より自転車を利用するべきだとドライバーへ訴えかける作品など具体的に提言しているものが見受けられた。また、近年著しく増加しているマンション群に対する景観悪化、自然破壊への警告も少なからずあった。

#### 2. 歩行者レベルの視点による交通安全

街灯の少なさ、道路・歩道・横断歩道の改良、信号機・左折レーンの増設を提言しているものが見受けられた。中学生の作品では、実際に体験した不便な出来事を改善してほしいと提言するものや、問題点を整理して理論的に説明している作品があった。

### 3. 自動車、自転車マナー

自動車を運転するドライバーへは、法改正による後部座席のシートベルトの着用義務、飲酒運転、信号無視の防止について言及していた。また、自転車に乗る人については、携帯での通話・メール、ヘッドホン、並列で走ることについて危険であるという意見があった。

自動車、自転車を利用する人や歩行者が交通ルールを守ることが大切であり、また一人一人のゆずり合いの心が大切だと住民に対して強く訴えている作品も見受けられた。

### 4. 駅前駐車、駐輪施設等の利便性

駅前の路上駐車を防止する対策案として、駅まで送り届ける車については、自動車から人を降ろすためのロータリーの設置。また、駅まで迎えに行く車については、無料駐車場を設置し、その駐車場へ駐車して迎えに行くという提案であった。

違法駐輪を防止する対策案については、つくば駅が地下にあることから地下駐輪場の設置も提案していた。

### 5. 交通手段などの利便

2010年に開港する茨城空港へのアクセスの悪さから、つくばエクスプレスを水戸まで延伸する提案をしている作品が見受けられた。

周辺地区の児童、生徒からはつくバスについて評価するとともに、つくバスがなくてはならないことを言及している作品もあった。

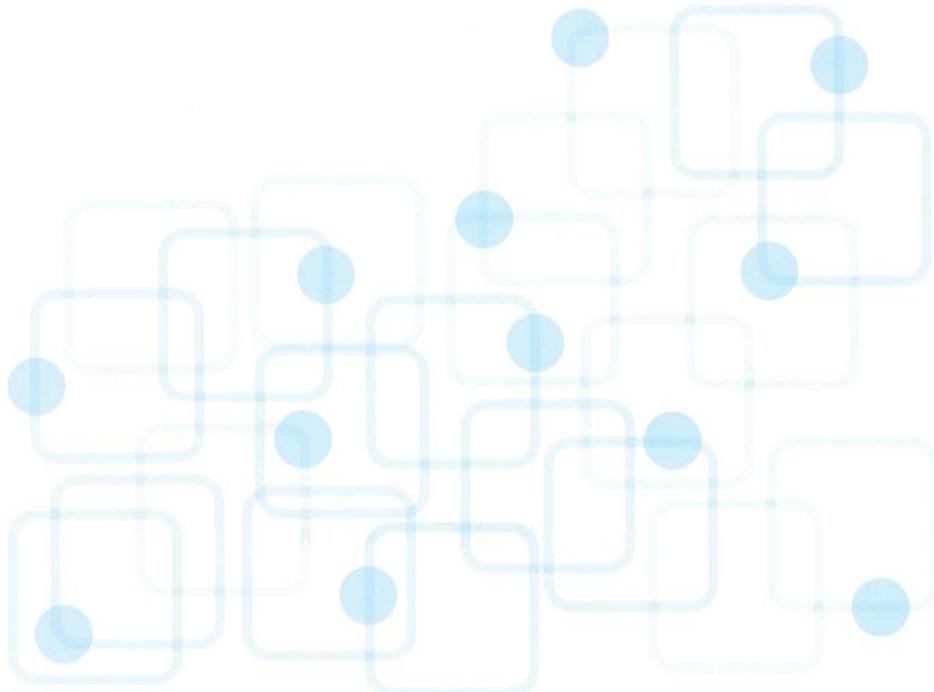
### 6. 不審者に対する防犯対策

街灯の設置、警察官の増員、職務質問の実施、防犯ブザーの携帯などの提案があった。



## 7. その他

来街者に対して、つくば市をもっと知ってもらうためのPRの方法（ラッピングバス・名産品開発・ボランティアガイド等）を具体的に記述している作品や、つくばエクスプレスに関して、駅の活性化につながるために「エキナカ」の設置、車両の増結、駅名が他路線の駅名と同じなので改称してほしいなどについて詳細に分析し、提案している作品もあった。



## (2) 絵画・ポスター考察

今回の作品の多くは、つくばが今後発展していくに当たり、自然・田舎の風景を残してほしいと訴える作品や、更なる都市化を望みつつ、自然と田舎が共存できるような「つくば」ならではの都市開発を望む作品が目立った。

具体的にカテゴリー別に整理すると、以下のようになつた。

### 1.自然環境

筑波山、農地など、人と自然の共生の大切さを訴えた作品が多くみられた。

### 2.都市環境

ソーラー電池で動くソーラーカーや、水素で走る自動車などCO<sub>2</sub>を減らし、環境にやさしい街を目指すような描写が多くみられた。

### 3.交通マナー

違法駐輪など一人一人のモラルを見直さなければならない描写が特徴であった。また、後部座席のシートベルトをドライバーへ呼びかけるような作品もあった。

### 4.観光

つくばのシンボルでもある筑波山、ロケット、つくバスの描写が多く描かれていた。

### 5.その他

ゴミのポイ捨てをやめてほしいことを住民へ訴えている作品や、お年寄りを大切にしようという描写が目立った。

## 4. 優秀作品紹介



## (1) 作文部門

## つくば市教育委員会 教育長賞 つくばの交通そして未来

竹園東中学校 二年 立矢 由佳

### 優秀作品紹介（作文部門）

私はつくばで生まれ、つくばにずっと住んでいます。私が成長していくにつれて、つくばの交通はどんどん発展していきました。数年前、つくばエクスプレスが開通しました。私はずっと心待ちしていました。その頃、つくばは今と比べると何もなくて自然豊かな開発途中の町でした。だから、私は東京などの都会に憧れを抱いていました。でも、近くに駅ができたからと、つて気軽に電車には乗れません。お金はかかるし、中学生が都会に行つたり慣れていない電車に乗るには少し決意が必要です。

今、つくばはお店も病院も学校も充実していて生活していくのに便利で困りません。そんなつくばだからこそ東京との距離はこのくらいが丁度良いのだと私は思います。

つくばでは歩くことも自転車に乗ることも車に乗ることも車に乗ることも不便がなく可能ですが、場所に応じて使い分けることが大切です。そんなたくさんの交通手段があるからこそ、もう少し整備をしたり考えていかなくてはならないこともあります。

でも、私にとってつくばは交通の便が良くてとても住みやすい市です。これから発展していく今の面影がなくなってしまうと、もう一つの東京の様で価値が小さくなると思います。私としては田舎の自然を残しつつ、発展している現在の形を残していく欲しさです。

つくば市の特徴は田舎の自然と都会の風景があることなどを押さえながら、つくば市の交通の未来について現状と改善点を述べている。主張が明快でこれからつくば市の交通を見直す視点になる作品である。

講評

そんなつくばの交通の未来について私は考えました。まず、今よりも交通の便が良くなつたらどうなるでしょうか。例えば、東京への距離が今以上に近くなつたとしましょう。もしかしたら、飛行場が作られ東京どころではない国際都市になつてゐるかも知れません。未来については分かりませんが、人の行き来が多くなると色々な人が増えると思います。国際的になれば海外から著名人が訪れる機会も増えるでしょう。そうなれば、産業技術総合研究所やJAXAなど科学施設が充実しているので科学の発展や施設の向上が期待できます。

しかし、色々な人というのは決して良い人ばかりではないはずです。人が多くなれば多くの程物騒になつてしまふと思います。また、道路を整備することが必要だと思います。つくばは交差点が多いので事故も多いです。ただ、道路

私が今つくばの交通でよいと思ふ理由はつくばエクスプレスが開通したり、以前よりも道路が増えても駅周辺に遊歩道が存在することです。そして、その道沿いにはたくさんのがあります。散歩をするとすごく気持ちが良いです。逆に良くないと思うことは遊歩道に明るい外灯があまりないことです。ただでさえ人通りが少ないので夜道などはすごく危ないです。私達中学生はよく遊歩道を部活帰りの遅い時間に通るので外灯について検討してみたいと思います。つくばは、駅周辺は昔と見違える程発展していきましたが多くの自然や温かい田舎の風景も残つています。交通にもいえることです。まだ、

優秀作品紹介（作文部門）

株式会社常陽新聞新社 会長賞  
安心・安全なつくばのために

竹園東中學校 三年 山口

沙季

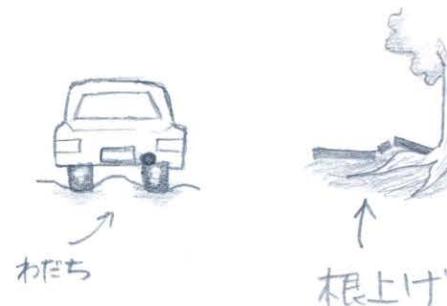
私たちか住んでいくこのつくば市は、近年人口が急増しています。これは、つくば市につくばエクスプレスが開通したことによつて都市へ通学・通勤する人が増えたことや、つくば市がおだやかな生活をおくるのに適した環境であることが理由だと思います。自動車の車窓から見える緑豊かな自然是、つくばを自然と調和した住みよいまちに変えてくれます。しかし、その自然が私たちの交通に悪影響をもたらすことはないのでしょうか。

私は、毎日自転車で通学していますが、歩道を横断するようになづいたり上がつたものに乗り上げてバランスを崩したことがあります。このもり上がりは街路樹の根が成長する際に歩道の路床をおし上げてできるもので「根上がり」といわれます。この「根上がり」によつて盛り上がつた部分に気づかず自転車に乗つて速いスピードで走行していた

としたら： もり上かりに乗り上りたときの衝撃は、走行していたときのスピードが速ければ速いほど大きく、自身を危険にさらす確率も高くなってしまいます。このような事故を未然に防ぐためにも、街路樹の根が路床をおし上げないよう、根系忌避材などのよう、木の根を路床から遠ざけるものを敷いたりする工夫が必要だと私は思います。

次は雨の日の交通についてです。先日雨の中、母と自動車でつくばエクスプレスのつくば駅前にある百貨店に買い物でかけました。私の家の近くは新しくできたマンションが多く、雨が降つて暗い日は、道路の路面に溜まつた水に信号機の光や家の照明などが反射し安全運転の妨げになり、細心の注意が必要となるため、母は雨の日の運転は嫌だと言つていました。ところが、駅前まで来てみたらどうでしよう。ちつとも眩しくありません。なぜなのかと

周りを見渡すと、道路のアスファルトがまったくといっていいほど光を反射していないことに気がつきました。駅前というまちの中で最も眩しい場所で、人々を事故から守るために工夫されたつくりになつてゐるこのアスファルトの道路、よく見てみると、すき間がたくさんあります。このすき間の中に雨水が浸み込んでいくことによつて、道路の表面に水が溜まらず、光が反射して眩しいことも、水が撥ねることもないのです。私はこのような道路の舗装をつくば市全体に広めることによつて、雨の日の交通事故の数は大いに減ると思います。ただ事故を減らすためにではなく、どうしたらつくば市民が安心して交通機関を利用できるかを身近なところから考え、実行していくことが大切なのだと私は思います。道路を走行するのは、もちろん自動車だけではありません。バイクなどの二輪車も少數ではあります。古い道路には、「わだち」といわれる自動車がたくさん通つてできる車輪の跡が多く見られます。車体の重みによつて自動車の車輪が通つたところだけがへこむとすると、必然的に道路の真



本人イラス

なつてしまひます。バイクのようないふたうな形に二輪車は普通道路の真ん中を走行するので「わだち」のあるところを走行すると、バランスを崩して転倒する恐れがあり非常に危険です。しかも、もしその場所が交通量の多い道路だつたら、大惨事にもなりかねません。このようなことを防ぐためにも、日頃から、道路の整備の状況を厳しく管理することが大切だと思います。また、市道になにか不備がある場合はつくば市に申請すれば解決してくれる、ということは分かつていても、具体的につくば市のどこにどうやつて申請すればいいのかを分かつていらない人たちがたくさんいると思うので、その方法を簡潔に示した資料をつくれば良いと思います。

私たちの住むつくば市には、まだまだ交通の問題があります。交通とは、その機関を利用する私たちにも大きなかかわりがあるので、いくら交通の設備が完全であつても、交通機関を利用する私たちのマナーが悪ければ何も変わりません。このまちを安全・安心なまちにしようといふ私たちつくば市民一人一人の心意気が、つくばを変える「原動力」に

普段利用している歩道について自転車で走行するに当たっての問題点を元に、改善の視点を与えてもらっている点がすばらしい。

※本文はオリジナルをそのまま掲載しております

## 優秀作品紹介（作文部門）

茨城県駐車場協会 会長賞

あぶないじてん車

吾妻小学校 二年 佐脇 愛香

わたしのつう学ろは、つくば大学  
まつ見口の手前から、きた大どおり  
をわたり、つくば学いん大学のよこ  
をとおります。  
車どうは、とても広いのですが、  
歩どうは広くありません。おとも  
だちと一人でならんで歩くのがせい  
いつぱいで。  
だけど、行きも帰りも前からも後  
ろからもじてん車がたくさんとおり  
ます。

けいたいでん話のメールをしながら  
のつている人や、イヤホンで音が  
くを聞きながらのつている人や、よ  
こならびで走つている人たちがいて、  
歩どうなのに歩いていてこわいと思  
います。

車どうと歩どうとじてん車のみち  
があつたらあんぜんないとわたし  
は思います。

講評

自分が普段歩いている道路について、鋭い  
目で問題点を指摘している。また、車道と  
自転車道の区別を提唱し、安全と環境の両  
面から住みやすい町づくりについて考えてい  
るところがすばらしい。

## 優秀作品紹介（作文部門）

### 優秀賞

「大好きなつくば市」

北条小学校 四年 山屋 裕援

つくばエクスプレスが開通してもう3年ほどたちました。つくばエクスプレスは、つくばから秋葉原まで45分で行けるのでとても便利になりました。またつくばエクスプレスを利用してつくば山方面への観光客がふえたと思います。

ぼくはつくばに来る人に名所を教えられるようにつくばについて色々学びたいと思います。つくば山は昔から歌によまれるほどゆうめいです。

それにその近くでとれるお米はとてもおいしいです。このようなことをつくば市に住んでいるぼくたちがつくば市におとづれた人達に教えたりピーアールしたり出来るようになれたら良いと思います。

そしてつくば市に来た人と、はづかしがらずにみんなが気軽に話がきいたら良いと思います。

つくば山方面ではじもとの人はほとんどの車でいどうしているため道を歩いている人はあまりいません。このようなところではハイキングをしている人がきがるに道をきいたりできないのでこまると思います。そこで車の人にも気軽に声をかけられるようにじもとで少しあんない出

来る人の車に、観光案内のきょうりよくができる車に目じるしとしてステッカーなどをはつて気軽に声をかけられるようになつたら良いと思います。

またつくば市ではバスがたくさん通っているのでバスの中などにつくば市の地図や名所などが書いてあるパンフレットをおいてあると良いと思います。

またバスのまわりに、つくばの名所や有名な物などの絵を書くと良いと思います。

たとえばつくば山や、おみやげや、おいしいお米や、がま、かたくりの

花など色々みんなからほしゅうをしてピーアールしたい物をえらべば見るだけでうきうきするようなバスになると住んでいる人も楽しいと思います。

また観光客が多い時はバスの中でつくば山の神社のことやおざがわり祭のことなどを放送すれば良いと思います。

つくば市に住んでいても知らないことがいっぱいあるのでつくば市に住んでいる人にも勉強になると思います。

ぼくは夏休み中に図書かんに行きました。つくばのことを調べたいと思います。

筑波山の観光が盛んになつたところに目をつけ、そのPRのための方策を考えている大変ユニークな作品である。観光案内について充実したい点を具体的に取り上げ提案しているところがすばらしい。

### 講評



優秀作品紹介（作文部門）

## 優秀賞 地域を支える交通

筑波東中学校 二年 柳瀬

友朗

現在つくばはの交通機関としては、二〇〇五年に営業が開始されたつくばエクスプレスや、つくば市内を循環するつくばバスなどがある。つくばエクスプレスはつくばと都内をつなぐ初めての電車である。またつくばと秋葉原の間を最短四十五分で行き来できるということで、県外の人々からのつくばへの関心が生まれ、観光客が増えたと考えられる。

その観光客に対してもつくばのまちがここ数年で変化しつつある。その一つとして挙げられるのはつくば駅周辺のショッピングセンターである。ショッピングセンターには様々な店が集中しているので品物を見比べながら買い物がすることが可能だ。それに加え飲食店等も多くあるので長い間滞在することができる。観光客にとっては筑波山の観光もすれば日帰りでも楽しい一日が過ごせるだろう。しかし問題点もある。最先端の品物などは多く取り入れられてい

なのに比べ、地元ならではのお土産などは少ないようく感じられ、つくば全体の観光客向けの商品としては、かなりの意見を出し合って商品開発を行なうことがあると思う。その解決策としては、筑波山周辺地域の人たちと学園都市の人たちがそれぞれの視点から意見を出し合って商品開発を行なうことが考えられる。  
次につくバスである。つくバスは地域ごとに循環バスがあり、つくば駅を中心に各地に交通網が広がっている。つくバスは、学生からお年寄りまで幅広い年代の人々が利用していて、地域の人にとっては常に必要とされている。一部のバスでは利用者と運転手の人が楽しそうに話している姿も見られた。つくバスはそのようなコミュニケーションの場でもあるのだと思う。つくバスの北部シヤトルは学園都市と筑波山があるつくば北部をつなぐ大切な交通手段だと思います。筑波山登山客にとってはつくバスのような気楽な交通手

段があるのはとても便利だと思う。そんな外からの人だけではなく、つるくば北部の人にも多く利用される。一つの例として挙げられるのは、学生の通学としての利用である。つるくバスには定期などもあり、それほど値段も高くなく利用できるので学生にとっては好都合なのではないかと思った。普段つくバスが道路を走っているのを見ると、とても地域に合っているように思える、色もやさしく、バスの構造にはお年寄りにもやさしいノンステップ車両になつている。そういう工夫が地域の人には身近な存在という意識をもたせているのだろう。

つくばには筑波山登山の数あるルートの一つにつくば道という道がある。つくば道は地元の人はよく使いう道だけれど休日になると観光客がよく目に付く。つくば道は自然によりそつた登山ルートには絶好の道だと思う。しかし、問題点も多くある。つくば道の道幅はせまく、車二台がすれちがうのがやつとという所も少なくない。多くの人が歩けば車の動きは不自由になり事故の危険が多くなる。登山客が多く訪ずれることが予想される休日には、なんらかの交

道規制をとるなど対応が必要だと  
思う。他にも、つくば道には信号が  
少ないため自分で注意の確認をする  
ように呼びかけることが考えられ  
る。

つくば市はここ数年で様々な発展  
をとげている。そのため、つくばへ  
来る人のためにも、つくばにいる人  
にも暮らしやすいまちづくりや、事  
故のないつくばになるような交通の  
発展に貢献したい。

評講

筑波山の觀光客を増やす方策として筑波の特産土産の商品開発に努めること、つくばバスの有効活用することなど、つくば市の特徴も捉えて主張している点がすばらしい。

※本文はオリジナルをそのまま掲載しております

## 優秀作品紹介（作文部門）

優秀賞

### 誇りを持つための一歩

吾妻中学校

三年

森口 ひかり

私は先日、都内に用事があり、午前九時ごろ、つくば駅に自転車で行きました。しかし、危うく電車に乗り遅れそうになりました。

なぜなら、自転車を止められなかつたからです。

最近、駅の近くに一日百五十円で止められる駐輪場ができたので、そこに止めようと思つていました。私が駅に着いた時刻にはもう、すでにすべて埋まつてしまつていて、止めるところがありませんでした。

結果、駅の近くに何台かすでに違法駐輪していたので、その横に止めてしましました。

東京から帰つてくると、黄色のステッカーのようなものが、自転車のハンドル部分に貼られていました。これは、いつまでにまだ、その場所に自転車があつた場合、撤去されるということなどが細かく明記してあるのです。

私はそのときに、そのステッカー

に対する少し怒りを感じました。

貼られたって、自転車を止めるところがないんだから、どうしようもない。どこに止めたらよかつたのか、

と腹立たしく思いました。

今、つくば駅周辺に無料で誰でも止められる駐輪場がないため、一日限りの有料駐輪場がいつぱいのときは、仕方なく違法駐輪をする人は多いと思います。

エクスプレス開通で他県、他市から来れる人が増えた今、私は、このような状況がとても恥ずかしいので、この現状が変わつてほしいと思いま

雜然と止められないよう、車輪止めのある駐輪場が望ましいです。

今、つくばは研究学園都市といいます。これからつくばを訪れる人

たちも多いと思います。彼らが街を見たときに、「自転車が雑然とあるし、マナーが悪い。」と思われるのは恥ずかしいことです。

二酸化炭素を出さずに、環境保持に貢献できるということで、近年自

転車は人気が出てきています。

その自転車が整然と並び、緑も多く、きれいな街だ。と思われれば、外国人が母国に帰つたときや、日本の各地から来れた人がつくばの好印象を話してくれるでしょう。このようなく、みな誇りの持てるようなつくばになつてほしいと思います。

講評

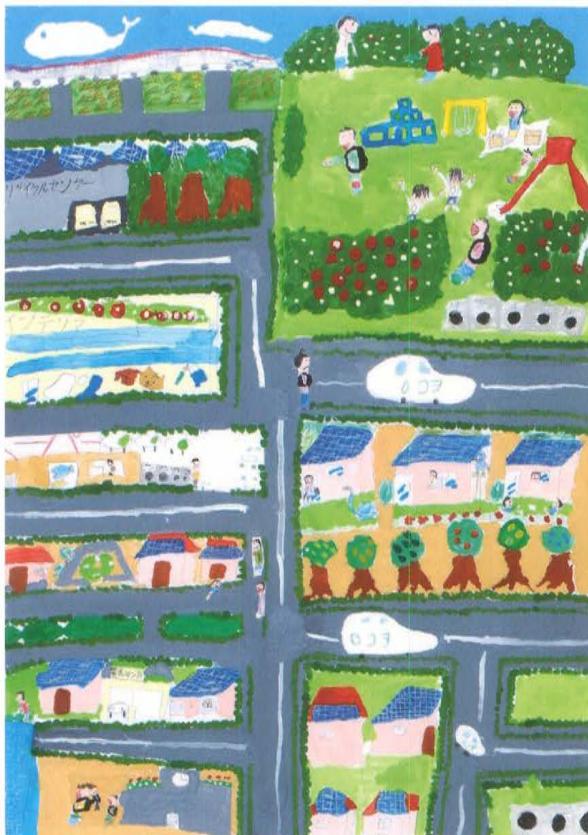
自分が体験した違法駐輪の体験を元にして、駐輪場の在り方について論理的に構成された作品である。一人一人のマナーアップにともない、世界に誇れるつくば市の創造に向けての提案がダイナミックである。

※本文はオリジナルをそのまま掲載しております。

## (2) 絵画・ポスター部門

## 優秀作品紹介（絵画・ポスター部門）

つくば市長賞



タイトル ECOの街つくば  
学校・学年 竹園西小学校 三年  
名 前 笹嶋 直之

### 講評

人工物は全て環境に配慮した物で構成され、自然を壊さない工夫が随所に見られる。平面パネル的に表現したこと、自分の思いが見やすいものになっている。車のECOの字が意図的に鏡文字になっているところがすばらしい表現方法である。



## 優秀作品紹介（絵画・ポスター部門）

財団法人つくば都市交通センター 理事長賞



タイトル ソーラーでんちで走る町

学校・学年 竹園東小学校 二年

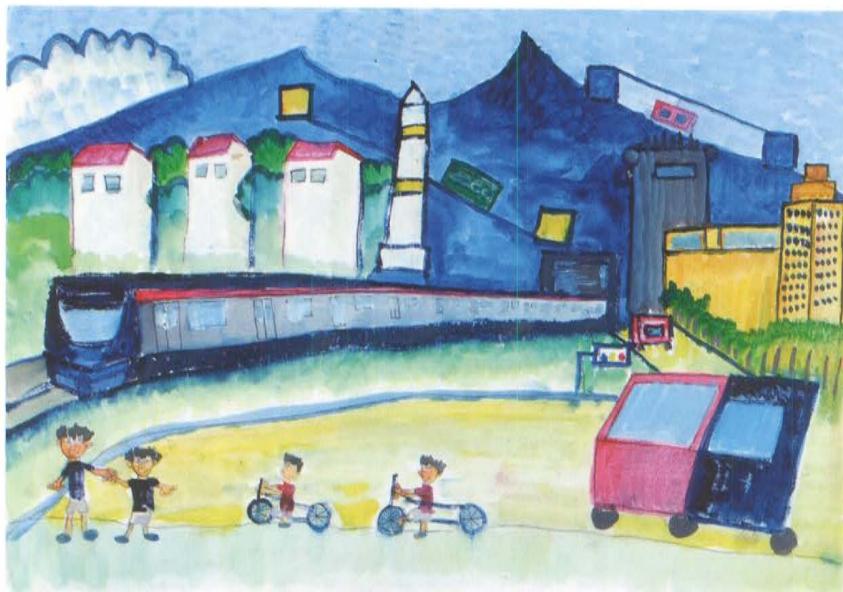
名 前 伊藤 智洋

### 講評

環境に配慮した未来社会の乗り物の在り方について子どもならではの発想がすばらしい。道路が立体的に構成され乗り物の種類により分類されている。さらに、乗り物だけでなく道路にもソーラーシステムがある発想が夢がある。

## 優秀作品紹介（絵画・ポスター部門）

財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス 理事長賞



タイトル すみよい町つくば

学校・学年 筑波小学校 三年

名 前田口陽大

### 講評

自然破壊をしないまち作りをイメージして、描いた作品である。絵の構成がはっきりしており物の構成がデザイン的な表現が面白い。

## 優秀作品紹介（絵画・ポスター部門）

特別賞



タイトル　自然を守り思いやりを育て発展するまち“つくば市”

学校・学年 桜中学校 一年

名 前 室町 啓太

### 講評

科学の発展により、今以上に人と自然の共生の大切さを訴えた作品であり、一人一人の心がけや思いが大切であることを効果的に表現した作品である。

## 優秀作品紹介（絵画・ポスター部門）

### 優秀賞



タイトル バスにのろう

学校・学年 北条小学校 一年

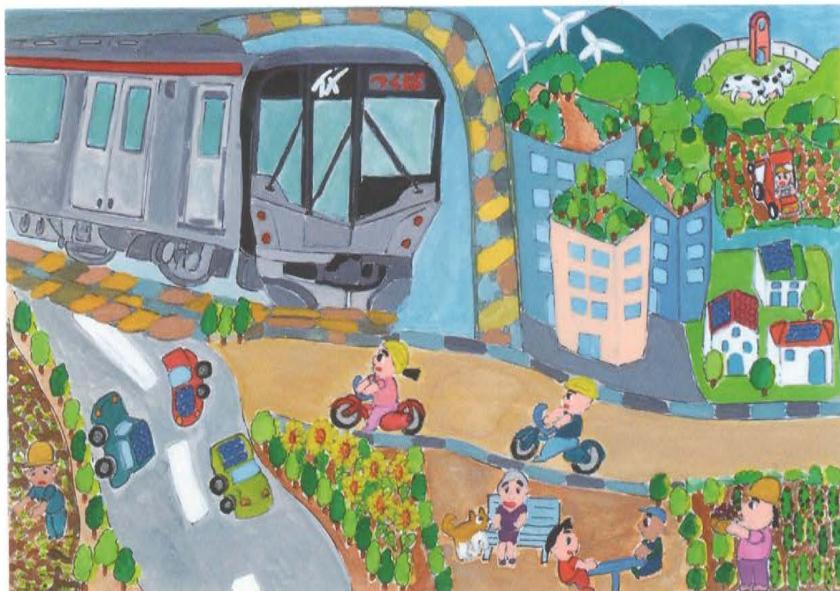
名 前 竹中 願真

### 講評

バスがとても好きで細部までよく観察して描いている。観察表現力がすばらしく、画面の構成にまで気を配り配置できている。

## 優秀作品紹介（絵画・ポスター部門）

### 優秀賞



タイトル 環境にやさしいまちつくば市

学校・学年 谷田部小学校 四年

名 前 齋藤 菜摘

### 講評

エコを前面に出した作品で、自分が考えつく理想のエコを上手く表現している。構成も大胆で、じぶんのおもいがとても分かりやすい。



## 優秀作品紹介（絵画・ポスター部門）

### 優秀賞



タイトル こんなとめ方していませんか?

学校・学年 竹園東小学校 六年

名 前 杉浦 康仁

### 講評

一人一人のモラルについて問いかけている作品で、ピンポイントに表現することで見る人に印象を強めている。訴え方が大変上手くセンスがある。

## 5. 参考





## 5.参考

### (1) 募集

1) 募集パンフレット:表紙

少年少女が考える  
「つくばのまちと交通」

主催 財団法人つくば都市交通センター

後援 つくば市、つくば市教育委員会ほか

対象者 つくば市内の小学校、中学校の児童、生徒

テーマ 「つくばのまちと交通」

作品 ①作文 ②絵画 ③ポスター

賞 つくば市長賞ほか

期間 平成20年夏休み（提出締切日9月5日）

提出先 通学している小学校、中学校に提出

詳しくは、各学校から配布される募集案内または当財団ホームページをご覧下さい

【問合せ先】財団法人つくば都市交通センター 企画業務部 電話 029(859)1904  
ホームページアドレス:<http://www.tutc.or.jp>

## 2) 募集パンフレット: 案内

### 少年少女が考える「つくばのまちと交通」募集案内

#### 1 総説

つくばエクスプレスが開通して、3年近くが経過し、つくばのまちは大きく変化しつつあります。また、「つくばのまちと交通」に貢献する公益法人として設立された財団法人つくば都市交通センターは、平成20年6月1日に創立20周年を迎えました。このようなかつて、財団は、つくばに住み、つくばを訪れる皆様とともにこれから「つくばのまちと交通」がより良いものになるよう考えてみたいと思っています。そのため、つくばの次世代を担う少年少女の新鮮な発想、創造力を活かして「つくばのまちと交通」への提案をいたしました。平成19年度に引き続き、作文、絵画、ポスターによる作品を募集することになりました。

応募作品は「つくばのまちと交通」に開拓したものを、自由な発想で自ら考え、家族や友達との語らいや学校での交換などを通じて感じたものを、幅広い視点で素直に表現していただきたいと考えています。

#### 2 募集内容

- (1) 対象：つくば市内の小学校の児童、中学校の生徒
- (2) テーマ「つくばのまちと交通」に関する  
 ①将来の姿やイメージ  
 ②身近な問題とその解決のアイデアや提案  
 ③人々に呼びかけたいこと  
 ④私はこうしたい、こうなりたい希望や夢  
 などを作品にまとめてください
- (3) 審査作品  
 ①作文(400字読み原稿用紙、2000字以内)  
 ※写真、図面、グラフ等を入れていただいて結構です。  
 ②絵画(用紙サイズ: 38×54cm程度)  
 ③ポスター(用紙サイズ: 38×54cm程度)
- (4) 審査期間  
 平成20年夏休み ※募集締め切り: 平成20年9月5日(金)までに、選考する学校に提出してください。

#### 3 獣

小学校低学年、小学校高学年、中学校に3区分し、作品の種別を問わず、優秀な作品、個性的な作品を選定します。

- ①個人賞…つくば市長賞ほか
- ②団体賞…優秀小学校賞、優秀中学校賞

#### 4 審査及び 審査結果の 発表

財団法人つくば都市交通センターで設ける審査委員会で審査し、平成20年10月上旬に入賞者を決定し、入賞者の所属する学校及び入賞校にご連絡いたします。なお、表彰式は10月下旬を予定しており、入賞のご連絡の際に会場、日時をあわせてご連絡いたします。

#### 5 注意事項

- ①応募作品は、自作で未発表のものに限ります。
- ②作品創作、提出等に費用がかかる場合、費用等は自己負担でお願いします。
- ③応募者一人1作品にして、作品の大きさ、分量等は過大なものにならず、費用等も最小限なものでお願いします。
- ④応募作品には必ず、以下の記載で学校名、学年、氏名、作品タイトル、作品の説明を明記してください。
- 作 文……………応募用紙をぎりぎり縦できりとり、作品の裏面右下隅にしっかりと貼り付けてください。
- 絵画、ポスター…応募用紙をぎりぎり縦できりとり、作品の裏面右下隅にしっかりと貼り付けてください。  
 ※なお、応募用紙がはがれることがありますので、作品裏面左下に鉛筆書きで学校名、学年  
 と氏名を記載してください。
- ⑥作品提出は学校を通じてお願いします。入賞の作品以外は学校を通じて返送します。
- ⑥入賞の作品は、当財団にて展示、活用させていただきます。原則として入賞作品は返却いたしません。

#### 6 主催等

主催：財団法人つくば都市交通センター  
 後援：つくば市・つくば市教育委員会・茨城県つくば中央警察署・茨城県つくば北警察署  
 常識新聞新社・財団法人研究学園都市コミュニケーションサービス(ACCS)  
 茨城県駐車場協会

### 3) 募集パンフレット: 応募用紙

#### 応募用紙

少年少女が考える「つくばのまちと交通」  
主催: 少年少女つくば市交通安全センター

#### 《作文・絵画・ポスター》

\*出品する作品に○してください

作品 タイトル	
学校名	学 校
学 年	年 生
ふりがな	
氏 名	男 ・ 女
作品説明	

※) 作品説明は、100~200文字の範囲でご記入ください。

注) 作文・...・... 応募用紙をきりとり紙できりとり、作品金枚数(ページ記入)と一緒に作品の **左上隅** に "ホチキス止め" してください。

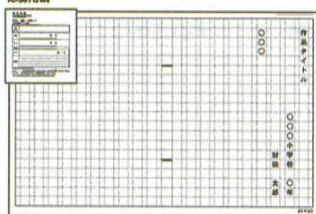
絵画・ポスター・... 応募用紙をきりとり紙できりとり、作品の **裏面右下隅** に "ひづりづけ" してください。

なお、応募用紙がはがれることがありますので、作品裏面下に鉛筆書きで学校名、学年と氏名を記載してください。

#### 参考例

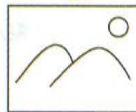
##### ・作文

応募用紙



##### ・絵画

裏面



裏面



##### ・ポスター

裏面



裏面





---

## (2) 記録

### 1) 募集掲載

○平成20年度少年少女が考える「つくばのまちと交通」

今、大きく姿を変えようとしているつくばのまちと交通をテーマに、少年少女の作品を募集します 内容①作文②絵画③ポスター※夏休みに作成したもの 対象市内の小・中学生

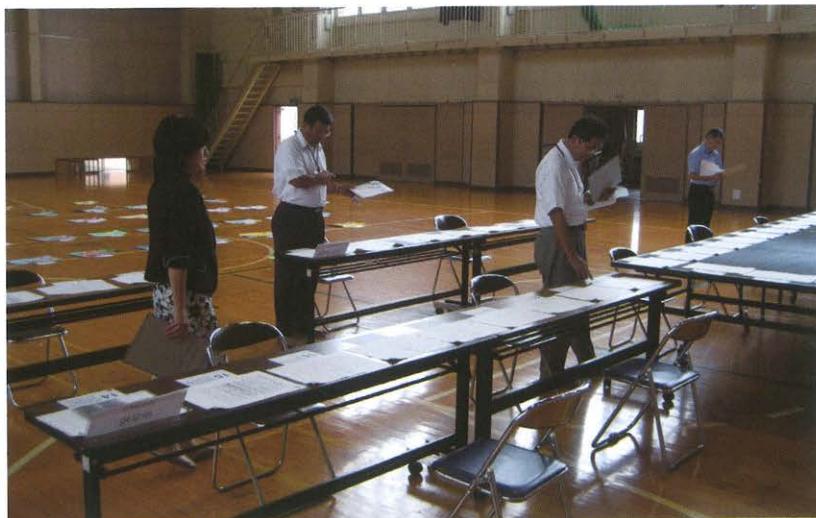
申込方法9/5(金)までに通学している学校へ提出

※詳細は各学校から配布の募集案内、ポスター等をご覧ください

問 (財)つくば都市交通センター☎(859)1904

(平成20年8月1日:広報つくば)

## 2) 一次審査会



(平成20年9月22日：つくば市役所豊里庁舎体育館)



---

### 3) 二次審査会



(平成20年10月6日：つくば市役所谷田部庁舎)

#### 4) 表彰式

会場風景



表彰状授与



受賞者集合写真



(平成20年11月2日：つくば国際会議場)



## 5) 表彰式記事掲載



(平成20年11月3日：常陽新聞)

### 少年少女が考える「つくばのまちと交通」 ～作品の表彰式が行われました～

11月2日、つくば国際会議場で、少年少女が考える「つくばのまちと交通」(第2回つくば都市交通センター主催)作品の表彰式が行われました。

市長賞には、「つくば市の皆さんのがエコに参加できるような願いを込めて」と語る笹崎直之さん(竹園西小)の絵画、ポスターが選ばれました。おめでとうございます。



【個別賞】	【特別賞】	【優秀賞】
つくば市長賞 笹崎直之さん(竹園西小)	研究学園都市コミュニケーション賞 佐藤愛香さん(吾妻小)	藤原菜摘さん(谷田部小)
つくば市教育長賞 立矢佳佳さん(竹園東中)	ケーブルサービス理事長賞 田口陽太さん(筑波小)	杉浦尚仁さん(竹園東小)
就つくは都市交通センター理事長賞 伊藤智洋さん(竹園東小)	茨城県駐車場協会会长賞 佐藤愛香さん(吾妻小)	山澤博根さん(北条小)
常陽新聞新社会長賞 山口沙季さん(竹園東中)	【特別賞】 室町悠太さん(桜中)	柳井友朗さん(筑波東中)
	【優秀賞】 竹中頼真さん(北条小)	森口ひかりさん(吾妻中)
		【優秀学校賞】 (小学校低学年部)吾妻小
		(小学校高学年部)竹園東小
		(中学校部)竹園東中

(平成21年1月1日：広報つくば)

## 6) 表彰式ACCS放送



(平成20年11月6日、17~30日：ACCSチャンネル9、チャンネルつくば702)

## 7) 受賞作品紹介掲載

**少年少女が考える「つくばのまちと交通」受賞作品 紙上紹介 一6-(総む)** 主催・財団法人つくば都市交通センター

**優秀賞 「誇りを持つための一歩」**  
つくば市立吾妻中3年 森口ひかり

**少年少女が考える「つくばのまちと交通」受賞作品 紙上紹介 一4-** 主催・財団法人つくば都市交通センター

**優秀賞 「地城を支え」**

**少年少女が考える「つくばのまちと交通」受賞作品 紙上紹介 一4-** 主催・財団法人つくば都市交通センター

**優秀賞 「大好きなつくば市」**  
つくば市立吾妻中4年 山岸 葵根

**少年少女が考える「つくばのまちと交通」受賞作品 紙上紹介 一3-** 主催・財団法人つくば都市交通センター

**茨城県駐車場協会会長賞**  
**あぶないじてんしゃ**

**特別賞 「自然を守る」**  
つくば市立吾妻中3年 山口 沙季

**常陽新聞新社会会員 安心・安全なつくばのために**  
つくば市立吾妻中3年 山口 沙季

**少年少女が考える「つくばのまちと交通」受賞作品 紙上紹介 一2-** 主催・財団法人つくば都市交通センター

**竹園東中3年 竹園東中3年 竹園東中3年 竹園東中3年 竹園東中3年 竹園東中3年**

**少年少女が考える「つくばのまちと交通」受賞作品 紙上紹介 一1-** 主催・財団法人つくば都市交通センター

**教育長賞 「つくばの交通そして未来」**  
竹園東中2年 立矢 由佳

**つくば市長賞 「ECOの街つくば」**  
立矢 由佳

(平成20年12月19・20・23日・平成21年1月8・10・14日：常陽新聞)

## 8) 平成21年カレンダー







## II. 2カ年にわたる作品募集の総括





## 1. 少年少女を取り巻く社会環境の変化と背景等



## 1.少年少女を取り巻く社会環境の変化と背景等

平成19年度、平成20年度の2ヵ年にわたり当財団は、「少年少女が考える「つくばのまちと交通」作品募集をおこなった。その結果について、つくば市内の小中学生の意識、姿勢、考え方等の変化や動きについて若干の考察を加えることにした。

### 少年少女を取り巻く社会環境の変化と背景等

平成19年度は、経済情勢も比較的明るく、景気の不安定さは感じられず、弱含みながらも、むしろ上昇基調でもあった。トヨタ自動車の営業利益が過去最大の収益を記録するなどの現象からもその様子が伺えた。一方、社会面では、TXの乗降客の増加も顕著になり、相次ぐ便数の増加により、交通の利便性の向上と速達性が広く認知されるようになった。その結果、来街者が多くなり、比較的首都圏域から容易に来れる手短な観光地として、筑波山への観光客の誘導、筑波山へのバス直行便に賑わいなどがみられた。

平成20年度については、前半の6月頃までは、平成19年度に引き続き、順調な社会経済情勢が続いた。ところが、7月頃から急激な原油価格の高騰を受け、世の中の動きが突如歯車が狂ってきたかのように大きな社会の変化の波に巻き込まれていった。

振り返ってみれば、つくば市は施策として、平成20年5月に「環境モデル都市」をめざした「つくば環境スタイル計画」を立案した。内容は、

- ①CO<sub>2</sub>排出の可視化による「低酸素化意識」にかかる環境教育
- ②水と緑を生かした「低炭素田園空間」の創出
- ③モデル街区等における新たなエネルギー導入など「実験低炭素タウン」の展開
- ④新たな交通技術の導入と移動手段の発想の転換による「低炭素新交通技術」の構築

であった。

こうした、つくば市の環境行政に対する施策発表は少なからず市内の小中学生にも多くの関心を喚起するという影響をもたらした。

また、環境問題では、特に顕著に現れたのが、昨年、ドイツでの「ハイリゲンダムサミット」で議論された「2050年までにCO<sub>2</sub>排出を50%削減する」という内容に主要国が合意し、平成20年7月から8月にかけて、G8各国首脳が一同に会して洞爺湖で行なわれた洞爺湖サミットで、「低炭素社会の実現に向けた共同声明が打ち出された。これは、世界のリーダーが改めて地球温暖化防止に向けた取組みを認識した画期的なできごとであった。

こうした、相次ぐ環境問題について、市内の小中学生にもその重要性が浸透してきた結果であった。

また、同時期（平成20年7月から8月）には、原油の大幅な値上がりによる様々な業界へのしわ寄せ、影響が顕著となつた。8月24日には、ガソリン価格がスタンド渡しで過去最大の184円/リットルまで上昇した。

一方、ガソリンの高騰を受け、化石燃料に変わるバイオ燃料として小麦、トモロコシ等の原材料が見直され、食品素材としてよりもバイオ燃料材として優先消費に回ったことから、家畜の餌が不足する事態となり、酪農経営に大きな打撃を与え、結果としてバター、チーズ等の乳製品の高騰を招き社会生活に大きな衝撃を与えたのもこの時期であった。

こうした社会変動、経済変動は、つくば市域におけるレジ袋の有料化による省資源運動の開始にもつながつた。

また、平成19年度に引き続き、平成20年度もTXの利用客は増え続けており当初予想通りの乗降客数の推移をみている。こうしたことから、つくば市民として誇れる研究学園都市をより一層目指すために、研究学園都市の玄関口にふさわしい街のあり方を提言する中で、特に、歩行者優先道路のあり方や自転車駐車場のあり方、交通マナーの徹底など安全安心を望む声も多数寄せられた。

## 2. 応募作品の具体的題材設定傾向



## 2. 応募作品の具体的題材設定傾向

### (1) 作文分析

#### 自然・技術、社会生活

平成19年

##### 自然・技術

- 森林伐採
- 開発による自然破壊
- $CO_2$
- 排気ガス
- 温暖化
- エコカー
- 太陽光発電

##### 社会生活

- スーパー防犯灯の設置
- 街灯の設置
- 不審者対策
- 駐輪場に警備員を配置
- 地域ボランティア活動
- 国際化
- 行政と学生の意見交換
- ゴミ対策
- 人口増加による受験への影響

平成20年

##### 自然・技術

- 森林伐採
- 開発による自然破壊
- $CO_2$
- 排気ガス
- 温暖化
- エコカー
- 電気自動車
- ガソリンの高騰
- エコバッグ

##### 社会生活

- 不審者対策
- 街灯の設置
- 国際交流
- ゴミ対策
- タバコのマナー
- 車から自転車への利用

地球、自然環境保全については、前年も地球温暖化の問題やエコカーでの対処策の記述があったが、平成20年の作品にはそれらに加え、レジ袋が一部スーパーで廃止されたことによる“エコバックの利用”という記述や“ $CO_2$ 削減”、“ガソリンの高騰”により自動車から徒歩・自転車利用への誘導を訴えている作品が多く見られた。

## 都市、交通

平成19年

### 都市

- ペデストリアンデッキ
- つくば副都心構想
- 遊歩道整備
- アスファルト改善
- つくばのY字路
- 地下駐輪場
- ライトレール導入
- リンリンロード
- 筑波山観光

### 交通

- バス停設置
- バス優先道
- 交通看板設置
- 信号機増
- 駅前ロータリー設置
- ベンチ・案内板設置
- 左折優先道
- つくバス・サイエンスツアーバス周知化
- パークアンドライド
- つくバス無料化・ルート改善
- レンタサイクル
- 飲酒運転
- 信号無視
- 違法駐輪
- 携帯電話通話運転
- シートベルト
- 放置自転車
- 運転マナーの悪い茨城県民
- 駅前路上駐車
- 横断歩道の少なさ
- つくばエクスプレス女性車両の問題点

平成20年

### 都市

- ペデストリアンデッキ
- 道路の改良
- 地下駐輪場
- 地下駐車場
- リンリンロード
- 筑波山観光
- エキナカの設置

### 交通

- 信号機増
- レンタサイクル
- 飲酒運転
- 信号無視
- 違法駐輪
- 駐車違反
- 交通ルール
- 後部座席のシートベルト
- TX車両の増結
- 車利用の抑制
- 自転車運転のマナー
- 茨城空港のアクセス

---

自動車、自転車マナーについては、携帯電話で通話しながらの運転、飲酒運転、信号無視、スピードの出しすぎなどのほかに、平成20年6月の法改正による後部座席のシートベルトの着用義務をドライバーへ訴えている作品があった。また、一人一人のゆずり合いの心が大切だと住民に対して強く訴えている作品などは昨年よりやや少なくなった。

駅前の路上駐車や路上駐輪については、エクスプレスが開通してからいままで問題になってきたが、いまだに路上駐車・駐輪が解消されていないこともあって、何とかしなければいけないという作品が前年に引き続き多数あり、対策としてもロータリーの設置や地下駐輪場の設置など、インフラ整備の実現を訴える作品が多く見られた。

---

## (2) 絵画分析

### 自然・技術, 社会生活

平成19年

#### 自然・技術

筑波山  
田園風景  
昆虫  
エコカー

#### 社会生活

清掃等  
公園  
口ケツ

平成20年

#### 自然・技術

筑波山  
エコトレイン  
野菜  
リアカー  
地球温暖化  
ソーラーカー

#### 社会生活

口ケツ  
松見公園  
リサイクル

つくばのシンボルとしての描写（筑波山、田園風景等）を背景にした作品がやや少くなり、ガソリンの高騰とCO<sub>2</sub>削減の影響により、地球環境にやさしいエコカーや未来の乗り物、太陽光発電による未来のつくばエクスプレスを描いた作品が多く見られた。

## 都市、交通

平成19年

### 都市

駐輪場  
リンリンロード  
つくばエクスプレス  
モノレール  
圏央道

### 交通

携帯電話  
車椅子  
点字ブロック  
信号・横断歩道  
バス・つくバス  
自転車  
未来の乗り物

平成20年

### 都市

駐輪場  
駐車場  
モノレール  
道路整備  
路面電車  
天文台  
高速道路  
つくばエクスプレス

### 交通

信号・横断歩道  
バス・つくバス  
自転車  
未来の乗り物  
ヘリコプター

平成20年は、観光アピールとしてのリンリンロード、携帯電話をしながらの運転に閑した作品は見受けられなかった。

---

### (3) ポスター分析

#### 自然・技術, 社会生活

平成19年

自然・技術  
筑波山  
エコカー

社会生活  
公園

平成20年

自然・技術  
筑波山  
自然保護  
電気自動車  
水素自動車

社会生活  
ゴミ捨て禁止  
思いやり  
安全、平和  
福祉

平成20年は、昨年には無かったゴミ捨て禁止、高齢者へのおもいやりに関する作品があった。

## 都市、交通

平成19年

### 都市

駐車場  
リンリンロード  
つくばエクスプレス  
モノレール

### 交通

信号・横断歩道  
点字ブロック  
自転車  
バス・つくバス  
未来の乗り物  
清掃等  
携帯電話  
飲酒運転  
スピード出し過ぎ  
信号左右確認

平成20年

### 都市

バスターミナル  
つくばエクスプレス

### 交通

交通安全  
信号・横断歩道  
バス・つくバス  
後部座席のシートベルト  
ヘルメット  
飛び出し禁止

平成20年6月の法改正による後部座席のシートベルトの着用義務によって、ドライバーへ訴えている作品があった。



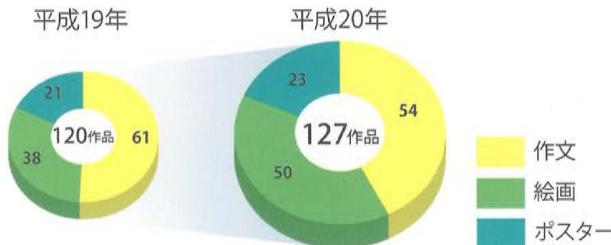
### 3. 応募状況の分析



### 3. 応募状況の分析

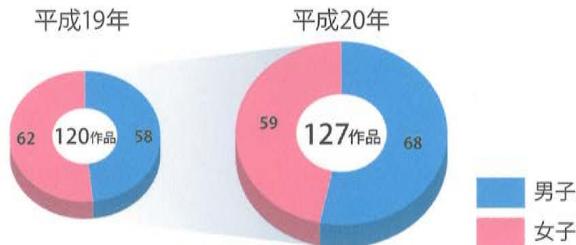
#### (1) 全体分析

##### □全作品内訳



総数は前年よりも7作品多い127作品であったが、作文の数は7作品少なかった。

##### □全作品内訳（男女別）



前年は男子が女子よりも4作品少なかったが、平成20年は男子が女子を上回り9作品多かった。

## □ 学年別内訳（作文）

平成19年



平成20年



■ 小学校低学年 (1~3学年)  
■ 小学校高学年 (4~6学年)  
■ 中学校

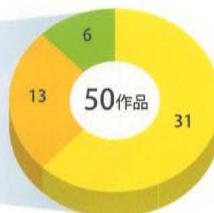
学年別の作品数は前年とほぼ同数である。

## □ 学年別内訳（絵画）

平成19年



平成20年



■ 小学校低学年 (1~3学年)  
■ 小学校高学年 (4~6学年)  
■ 中学校

小学校低学年からの作品が前年よりも12作品多く、約6割を占めた。

## □ 学年別内訳（ポスター）

平成19年



平成20年



■ 小学校低学年 (1~3学年)  
■ 小学校高学年 (4~6学年)  
■ 中学校

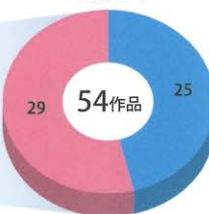
学年別の作品数は前年とほぼ同数である。

### □男女別内訳（作文）

平成19年



平成20年



男子  
女子

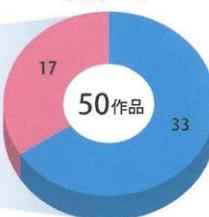
男女の比率は前年と同様である。

### □男女別内訳（絵画）

平成19年



平成20年



男子  
女子

前年よりも男子の作品が12作品増えた。

### □男女別内訳（ポスター）

平成19年



平成20年



男子  
女子

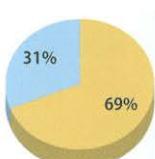
男女の作品数は前年とほぼ同数である。

## 1) 作文分析

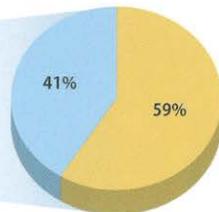
### ①作文ジャンル別分析（男女別）

□ 男子 / 28作品（平成19年）、25作品（平成20年）

平成19年



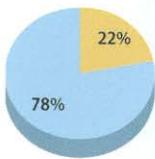
平成20年



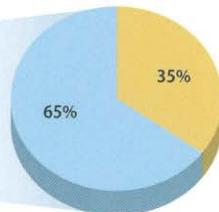
■ 自然・技術, 社会生活  
■ 都市, 交通

□ 女子 / 33作品（平成19年）、29作品（平成20年）

平成19年



平成20年



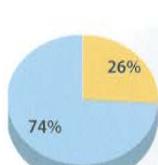
■ 自然・技術, 社会生活  
■ 都市, 交通

前年と比較すると男子は、交通ルールの記述が多くなり、割合では約3:7から4:6と変化があった。女子は、エコバッグ、ゴミのポイ捨ての記述が多くなり、約8:2から6:4と変化があった。

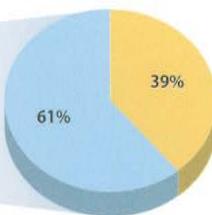
## ②作文ジャンル別分析（地域別）

中心地区 / 50作品（平成19年）、40作品（平成20年）

平成19年



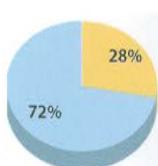
平成20年



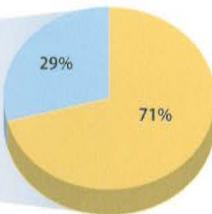
■ 自然・技術, 社会生活  
■ 都市, 交通

周辺地区 / 11作品（平成19年）、14作品（平成20年）

平成19年



平成20年



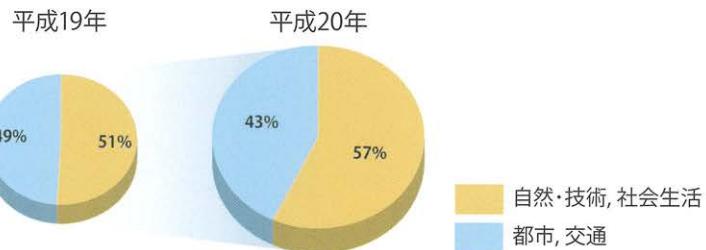
■ 自然・技術, 社会生活  
■ 都市, 交通

周辺地区について、前年と比較すると社会情勢の変化とともにガソリンの高騰、排気ガスの削減の記述が多く約7:3から3:7と大幅に変化が見られた。

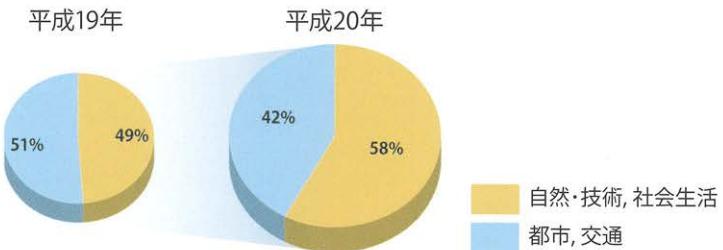
## 2) 絵画分析

### ① 絵画ジャンル別分析（男女別）

□ 男子 / 21作品（平成19年）、33作品（平成20年）



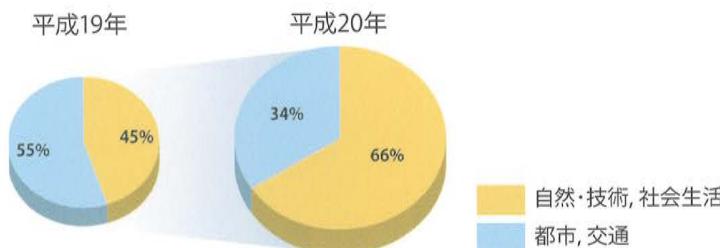
□ 女子 / 17作品（平成19年）、17作品（平成20年）



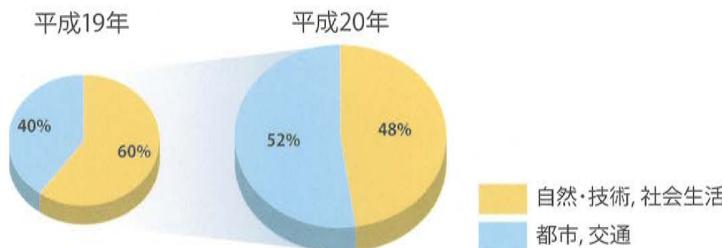
前年とほぼ同等であるが、環境にやさしい乗り物のソーラーカー、エコ電車等のモチーフが多く見られた。

## ②絵画ジャンル別分析（地域別）

□ 中心地区 / 25作品（平成19年）、28作品（平成20年）



□ 周辺地区 / 13作品（平成19年）、22作品（平成20年）



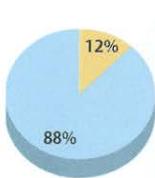
中心地区については、筑波山のモチーフが多く描かれており、前年と比較すると約6:4から3:7と自然に関連するモチーフが描かれていた。また、周辺地区は、前年とほぼ変化がないがTXのモチーフが多く見られた。

### 3) ポスター分析

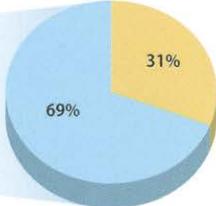
#### ①ポスタージャンル別分析（男女別）

□ 男子 / 19作品（平成19年）、10作品（平成20年）

平成19年



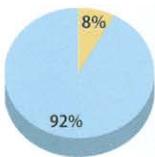
平成20年



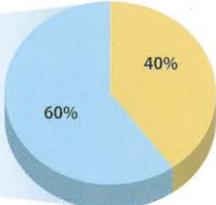
■ 自然・技術, 社会生活  
■ 都市, 交通

□ 女子 / 12作品（平成19年）、13作品（平成20年）

平成19年



平成20年

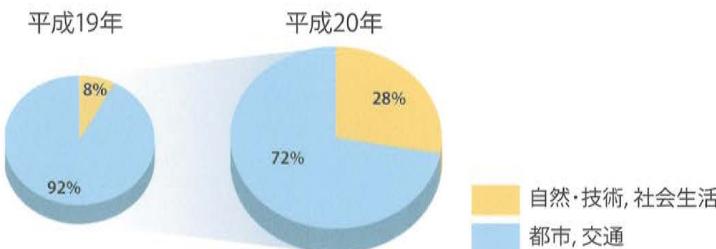


■ 自然・技術, 社会生活  
■ 都市, 交通

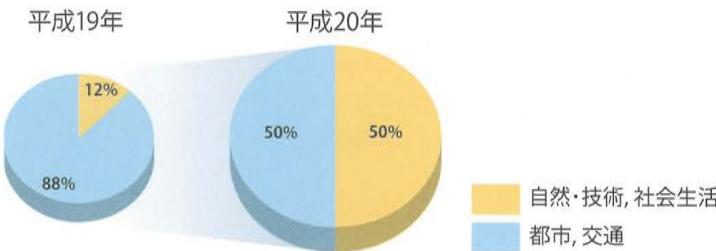
男女ともに、前年に引き続き交通安全、交通ルールに関するモチーフが多かったが、前年と比較すると環境に関する自然保護、ゴミ捨て禁止のモチーフが多く見られた。

## ②ポスタージャンル別分析（地域別）

□ 中心地区 / 13作品（平成19年）、14作品（平成20年）



□ 周辺地区 / 8作品（平成19年）、9作品（平成20年）



中心、周辺地区ともに、前年と比較すると社会情勢の変化とともに環境に関するモチーフが多くなり、周辺地区については、約1:9から5:5と大幅に変化が見られた。



## (2) 応募作品の主張と問題解決への提案

平成19年度、平成20年度の2ヵ年にわたり実施した作品募集では、市内の小中学生から延べ247作品の応募があり、それぞれの作品で、少年少女が抱いている主張や問題解決への提案は、とても興味深いものであった。

応募された全ての作品内容について、作文はキーワード別に、絵画・ポスターはモチーフ別に整理し、「都市、交通」と「自然・技術、社会生活」のカテゴリー別に分類し、少年少女が表現した主張のポイントと問題解決への提案を一覧表にまとめた。

また、問題解決への提案については、言及先別にグラフにまとめ、2ヵ年の動きに考察を加えた。



### 1) 作文分析

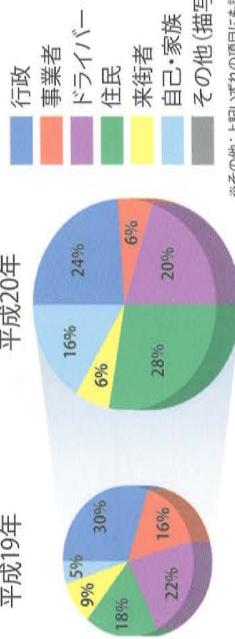
### 応募作品の主張と問題解決への提案

分類	キーワード	主張のポイント	問題解決への提案	
			都	市
都	ペデストリアンティキ	公園通りの利便性	<p>①お洒落なレストランを設置</p> <p>②車椅子でも使いやすい高低差の解消</p> <p>③走った距離がわかる道標設置</p> <p>④木の根によるせり上げが補修</p> <p>⑤街路樹の根が路面を押し上げないように根系遮材の設置</p>	
市	アスファルト舗装改善	通学路(歩道)のアスファルト舗装の 破损修復と危険防止	<p>①公園通りに駐輪スペースの設置</p> <p>②放置自転車に対する対策</p> <p>③遠洋駐輪場の設置</p> <p>④みんなが住みやすいうくば</p> <p>⑤つかはるなましの発展</p> <p>⑥住みやすいまちづくり</p>	
都	地下駐輪場	地下駐輪場	<p>①図書館に駐輪スペースの設置</p> <p>②放置自転車に対する対策</p> <p>③遠洋駐輪場の設置</p> <p>④みんなが住みやすいうくば</p> <p>⑤つかはるなましの発展</p> <p>⑥住みやすいまちづくり</p>	
市	ライアーレル導入	道路の改良、 地下駐車場、 エキナカ、 リサイクロード	<p>①筑波山への観光客の更なる誘致</p> <p>②つくばのPR(観光、お土産)</p> <p>③つくばの路、駐車場防止</p> <p>④エコアクション2050への希望</p> <p>⑤リサイクロード</p>	<p>①筑波山への観光客の更なる誘致</p> <p>②つくばの路、駐車場防止</p> <p>③つくばの路、駐車場防止</p> <p>④エコアクション2050への希望</p>
都	筑波山観光	バス停設置、 交通看板設置、 信号機設置	<p>①バス停設置</p> <p>②交通看板設置</p> <p>③信号機設置</p>	<p>①駅近くに観光客用レンタル自転車の設置</p> <p>②貸出用の自転車の設置</p> <p>③歩道の中央に駐輪場を設ける所を書いたパンフレットの設置</p> <p>④各店舗に共同駐車場又は地下駐車場の設置</p> <p>⑤駅周辺の自転車屋の設置</p> <p>⑥北門シャトルバス停に自転車屋き場の設置</p>
市	センターサイクル	駅前ロータリー設置		<p>①駅近くに観光客用レンタル自転車の設置</p> <p>②貸出用の自転車の設置</p> <p>③歩道の中央に駐輪場を設ける所を書いたパンフレットの設置</p> <p>④各店舗に共同駐車場又は地下駐車場の設置</p> <p>⑤駅周辺の自転車屋の設置</p> <p>⑥北門シャトルバス停に自転車屋き場の設置</p>
都	左折優先道路	交通事故防止		<p>①右折用信号機、左折レーンの設置構造</p> <p>②中心地区への自転車等専用レーンの設置</p> <p>③歩道の増設</p> <p>④立体駐車場の増設と駐車料金の値下げ</p>
市	飲酒運転	飲酒運転防止		<p>①アルコール検査器の設置</p> <p>②ドライブレーベル活動させない</p> <p>③無料駐輪場の設置</p> <p>④基本的なマナーの向上</p>
都	違法駐輪	違法駐輪防止		<p>①監視カメラやスピード測定器の設置</p> <p>②シートベルトの着用</p> <p>③ヘルメットやシートベルトの着用</p>
市	交通ルール	交通事故の遵守		<p>①駆け込み道の設置</p> <p>②車両の増幅</p> <p>③水まきでの延伸</p> <p>④列車の両端に男性、女性専用車両の設置と一般利用客両端の格付け分け</p> <p>⑤バリアフリート方式の推進</p> <p>⑥公共交通機関の増強</p>

自然	CO <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub> 削減への提案	①エコライフの推進 ②車から自転車や徒步への転換 ③公共交通機関の利用増 ④ハイブリットカーへの転換 ⑤水で走る車の開発 ⑥ソーラー(太陽)の利用による電気で動く歩道の設置
自然	開発による自然破壊	環境にやさしいつばさ	①伐採分の植樹 ②資源ミニのリサイクル ③森林、エネルギーの節約 ④里山開拓 ⑤表面绿化 ⑥アコノ温度の適切な設定
技術	温暖化	地球温暖化防止	自動車への転換
技術	ガソリンの高騰	ガソリンの高騰対策	エコバックの利用
社会	エコバック	レジ袋の削減	①ポスターによる呼びかけ ②街灯の設置 ③防犯カメラの設置、除犯サーザーの設置 ④警察官の機動 ⑤警察、警備の厳格化
社会	不審者対策	不審者対策	低学年の方でも使い方がわかるスマート防犯機の設置
社会	スマー防犯灯の設置	安心・安全なまちづくり	①清掃活動への積極的な参加 ②ごみの持ち帰り ③地域間の連携、強化 ④資源ミニのリサイクルへの積極的な取組み ⑤このボイストで防止
社会	地域がんティア活動	自然を守るためにの取組み	①きれいなまちのアピール ②滞在の人たちとの交流強化 ③定期的な集会による意見を市長へ提出
社会	国際化	来街者の交流	①環境・景観コーナーの企画化 ②タバコ自動販売機の禁煙、喫煙禁止
社会	行政と学生の意見交換	市民が勢力をもてる街景観の保持	
社会	タバコのマナー	歩きタバコの禁止	

## □作文・言及先分析

平成20年 平成19年



※その他・上記いずれの項目にも該当しないもの

排気ガスの削減に伴い、住民に対して、自動車から自転車を利用するよう呼びかける作品が多く見られたため、前年と比較すると18%から28%と変化があった。

## 2) 絵画分析

### 応募作品の主張と問題解決への提案

80

分類	モチーフ	主張のポイント	問題解決への提案
都市・交通	駐車場 モノレール 道路整備	30年後のつづくば 筑波山までの交通の優先性の向上 ①安全、安心な交通づくり ②快適なつづくばのまちづくり 交通の利便性	立体駐輪場の設置 モノレールの設置 車椅子を安全運転し、子供たちが安心して道を渡れるような家と家つなぐ橋の設置 幹線道路の立体交差化 誰でも簡単に乗れる路面電車の導入
	路面電車 天文台	星の観察 安全、安心な生活環境	いろいろな星が見える天文台の設置 桟道歩道、歩道橋への電子ブロック設置
	点字ブロック 未来的乗り物	未来のつづくば 未来的な乗り物	ガソリンのつづくばない空チユーブの中を移動する車の開発 機関歩道部のトラック駐車禁止
自然・技術・社会	信号・機関歩道 エコカー	安全な通学路の確保 環境にやさしいまち	①工コカーの増 ②公共交通機関や自転車を利用の促進 ③乗り物にはソーラーパネルの搭載、促進 ①工コカーの増 ②電気モノレールの導入 ③連絡と単体(二台)をつづく太陽電池で走る車の開発
	地球温暖化 ソーラーカー	地球温暖化防止(CO <sub>2</sub> 削減) ガソリンの高騰	環境の健全 ①筑波山を中心とした霞が露らしやすい、まちづくり ②自然環境保全 ③筑波山のPR すみよいつづくば
筑波山	田園風景 ロケット リサイクル 松原公園	未来の乗り物 環境にやさしいまち うるおいのある生活	筑波山の魅力を世界へ発信 筑波の原風景の保全 つくば発宇宙への開拓 リサイクル活動の実施 景観の保持

### 絵画言及先分析

平成19年

行政

事業者

ドライバー

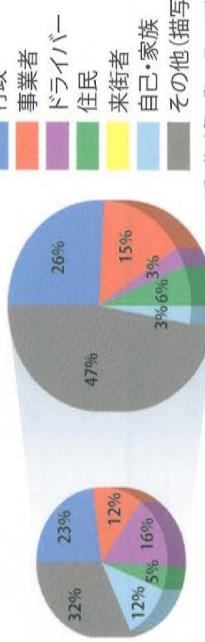
住民

来街者

自己・家族

その他(描写)

その他



※その他:上記いずれの項目にも該当しないもの

自然に関する筑波山、田、緑などのモチーフが多く、その他の描写が前年と比較すると32%から47%と変化があった。

### 3) ポスター分析

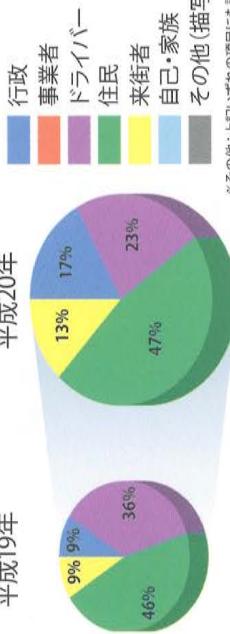
#### □応募作品の主張と問題解決への提案

		問題解決への提案		
分類	モチーフ	主張のポイント		
都市	つくばエクスプレス バスマニナリ 自転車	安全で早く趣実な運行 安全ですみよいいまち 快適な交差点の空間づくり	駆込み乗車の禁止 街景観の保持（自然を守り、思いやりをもつて）	人、自動車、歩行者が安心交差点
都 市 ・ 交 通	信号・樹齢歩道 携帯電話 飲酒運転 スピード出し過ぎ	交通安全	①信号が壊くなってしまった場合 ②信号が壊になってしまった場合 ③樹齢歩道をわざわざ歩道	①信号が壊くなってしまった場合 ②信号が壊になってしまった場合 ③樹齢歩道をわざわざ歩道
都 市 ・ 交 通	後部座席のシートベルト 自然・技術・社会生活	エコカー ゴミ捨て禁止	運転中の携帯電話の使用禁止 飲酒運転防止 少しの油断が事故のもと ①安全運転 ②交通ルールの遵守 もし事故があつたなら 緑ゆかがなすよいいまち ①クリーンエクスプレス ②きれいな道路環境	①運転スピードの抑制 ②あわてず、いそがす。ゆとりをもつた運転 手を上げて樹齢歩道を渡る ①信号をまもること ③飛び出し防止 シートベルトの着用 二酸化炭素を出さない環境にやさしい車での走行 ②自然との共存 車両内でのゴミ捨て禁止 車からのゴミ捨て禁止

#### □ポスター言及分析

平成20年

平成19年



※その他：上記いずれの項目にも該当しないもの

公共交通に関するバス、つくばバスのモチーフが多くあった。



## 4. 2カ年にわたる作品募集における 小中学生の主張内容のまとめ



#### 4. 2カ年にわたる作品募集における小中学生の主張内容のまとめ

つくばの小中学生が抱いている、現在と未来に対する意識や考え方を、この2カ年の応募作品を標語風にまとめると以下のように集約することができる。

1. 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり
2. 公共交通の充実と歩行者、自転車の利用しやすい道路の整備
3. 交通事故や犯罪を防止する手段の構築
4. 市民が誇りを持てる街景観の保持、維持
5. 都市の魅力を発信し、来街者と交流する都市の形成
6. CO<sub>2</sub>を減らして環境にやさしいまちづくり

今後、圏央道・つくばエクスプレス沿線地区等の開発により、つくば市が大きく変貌していく中で、行政・事業者・住民がそれぞれの役割を認識し、協働でまちづくりを進めることこそ活力ある地域社会がつくられるのではないかと思われる。

結果として、安全・安心な社会、低炭素社会を実現しようと努力することは、社会の持続性を高め明るい未来を目指すことにつながる。無駄を省き、自然と親しむ生活を望む小中学生の今後のライフスタイルに注目していきたい。

## あとがき

本作品募集にあたり、ご後援をいただきました、つくば市、つくば市教育委員会、茨城県つくば中央警察署、茨城県つくば北警察署、常陽新聞新社、財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス(ACCS)、茨城県駐車場協会の方々をはじめ、ご協力を頂きました関係者の皆様に、本誌を借りて、厚く御礼申し上げます。

財団法人つくば都市交通センター

発行日 平成21年2月

発行所 財団法人 つくば都市交通センター

〒305-0031

茨城県つくば市吾妻1-5-1

Tel 029-855-7211

